



OLTAC  
*Sky*

オルタックスカイシリーズは

全てのウレタン防水材料を**スカイ化**  
標準仕様全てが**環境対応**です

今までも、カラフルな仕上り色による意匠性や、扱い易い環境対応型ウレタン塗膜防水材と言った数々の新提案でご好評をいただいている田島ルーフィング(株)のオルタック防水システム。

施主の方々は勿論、工事現場周辺の住民のみなさまから施工を行なう方達に至るまで、**みんなに優しい防水を目指し**さらに一步進めて、材料の**混合時に攪拌状態が目で見えて分かる材料**を開発し、全てのウレタン防水材料に導入致しました。

オルタックスカイシリーズをよろしくお願いたします。



※ オルタックスカイの場合

# *Safety measure Keeps Your happiness*

## 環境対応とは

脱TXタイプ(トルエン・キシレン無配合)であること

シックハウスを引き起こす原因とされる物質を含まないこと

※ 厚生労働省ガイドラインに掲載の13の有害物質を使用しておりません。

標準仕様で用いられる材料全てでF☆☆☆☆を取得しています。

※ オルタックスカイは環境を配慮した材料を用いておりますが、ご採用頂いたすべての人の健康状態を保証するものではありません。

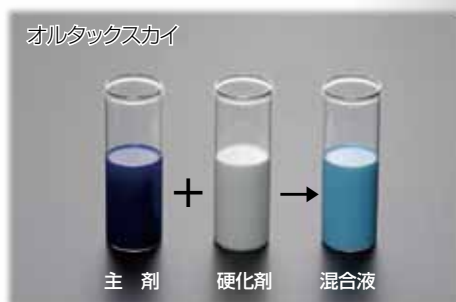
# オルタックスカイ シリーズ

## 《特許》

主剤に **色** がついて判りやすい

2液性ウレタン防水材の主剤は透明  
そんな常識を『オルタックスカイ』がうち破りました。  
主剤にも着色することで、攪拌状態がひと目で判る  
誰も思いつかなかったシンプルな改革。

ウレタン防水の完成度を高めるオルタックスカイシリーズです。



OLTAC  
Sky

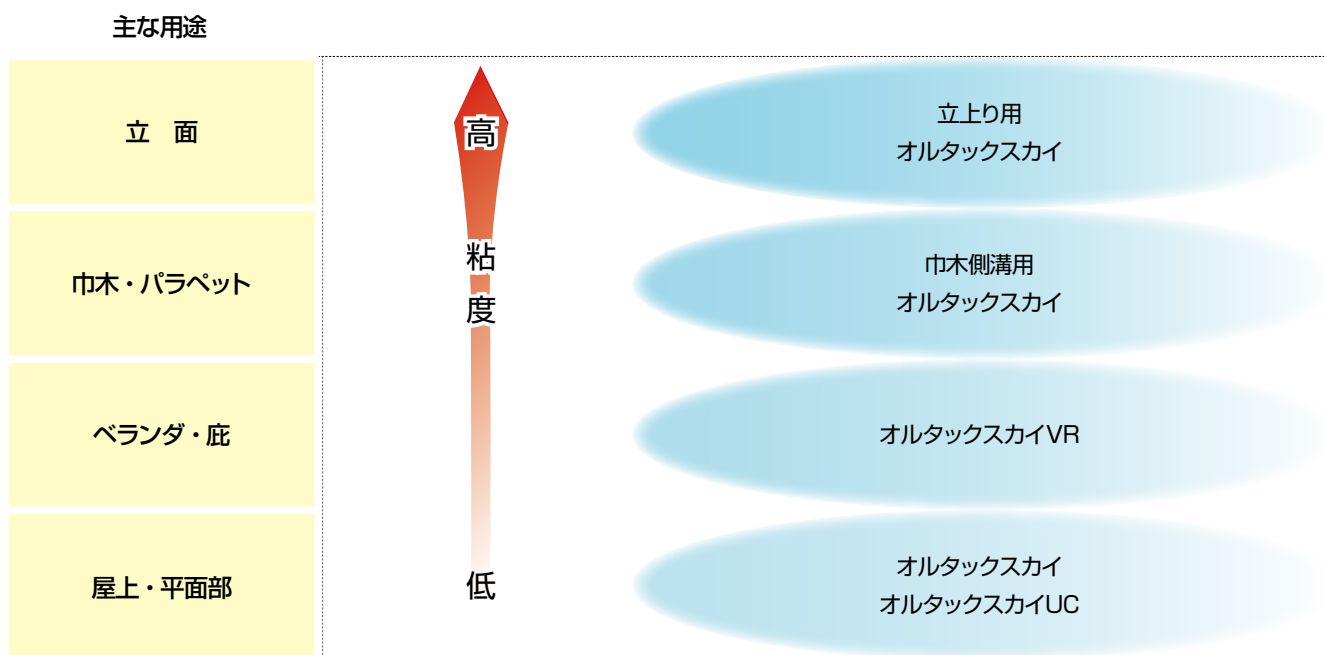
# 多様化する部位に オルタックスカイシリーズは お応えします！

ウレタン塗膜防水材料は施工される部位、現場での工期等により、様々な性能が要求されます。  
オルタックスカイシリーズは、それぞれに要求される材料をラインナップしています！

## 粘度に関して

ウレタン塗膜防水材料の大きな特長の一つとして施工できる部位の幅広さがあげられます。  
屋上平面部から垂直面と様々な用途に対応するために、オルタックスカイシリーズは4段階の粘度の材料で、その要求にお応えします。

## オルタックスカイシリーズのバリエーション



# オルタックスカイ 製品紹介

環境

ウレタン塗膜防水材



JIS A 6021

認証番号: TC 03 07 444

## オルタックスカイ

主剤と硬化剤の混合比率が1:1のため施工時におけるミスが少なく、安定した防水性能を得られます。特に耐久性において他の追従を許さない性能を持ち、ウレタン防水の信頼を高める防水材です。



32kg/セット (主剤:16kg/硬化剤:16kg)  
配合比1:1 硬化物密度1.2

## 立上り用オルタックスカイ

主剤と硬化剤の混合比率が1:2で、チクソ性が高くダレにくく、立上り部の施工性を向上させます。



24kg/セット (主剤:8kg/硬化剤:16kg)  
配合比1:2 硬化物密度1.3

## オルタックスカイUC

主剤と硬化剤の混合比率が1:2タイプのウレタン塗膜防水材です。下地の動きにより防水層が破断しないように引張り強さ・破断時の伸び率に優れています。



24kg/セット (主剤:8kg/硬化剤:16kg)  
配合比1:2 硬化物密度1.4

## オルタックスカイVR

一般的な屋上より勾配がきつい、片持ちの張り出しバルコニー、庇等の施工のために、ダレにくくきれいなレベリング特性を有しています。



24kg/セット (主剤:8kg/硬化剤:16kg)  
配合比1:2 硬化物密度1.4

## 巾木・側溝用オルタックスカイ

共用廊下やベランダなどの狭い巾木や側溝、パラペット天端、勾配のきつい部位の施工に適したウレタン防水材。

適度な粘度とチクソ性があり、ある程度の厚みを確保しつつ表面は滑らかに仕上がります。



24kg/セット (主剤:8kg/硬化剤:16kg)  
配合比1:2 硬化物密度1.3

※ 硬化物密度の単位は「Mg/m<sup>3</sup>」です。

# 環境に対する取組みについて

## ①厚生労働省、文部科学省などでシックハウス（室内空気汚染）の原因として指定されている物質を含有していません。

新築時やリフォーム時に使用された建材や内装材が含有する化学物質によって室内空気が汚染され、頭痛や吐き気などの症状を引き起こす事をシックハウス症候群といい、学校や保育園でこのような症状が発生するとシックスクールと呼ばれます。

厚生労働省では、平成 12 年よりシックハウス問題に対する検討会が開催され、有害物質についてのガイドラインが話し合われており、現在 13 の有害物質の室内濃度指針値を定めています。文部科学省では、学校における環境衛生管理の徹底を目的として「学校環境衛生基準」が定められています。その中では教育等の環境に係わる基準として、空気中の揮発有機化合物を検査する項目が定められており、6 物質が規制対象物質となっています。

(単位：μg/m<sup>3</sup>)

化学物質	厚生労働省	文部科学省
	室内空気汚染におけるガイドライン	学校環境衛生基準
ホルムアルデヒド	100	100
トルエン	260	260
キシレン	870	870
エチルベンゼン	3800	3800
スチレン	220	220
フタル酸ジ-n-ブチル	220	—
テトラデカン	330	—
アセトアルデヒド	48	—
フタル酸ジ-2-エチルヘキシル	120	—
パラジクロロベンゼン	240	240
ダイアジノン	0.29	—
フェノブカルブ	33	—
クロルピリホス	1	—

(2017年9月現在)

## ②脱TXタイプです。

オルタックスカイは、トルエン、キシレンといった強溶剤を使用していません。

※脱TXとは、シックハウス症候群誘発物質として規制対象となっているトルエンやキシレンを配合していない事をいいます。

## ③シックハウス対応として、最高評価のF☆☆☆☆を取得しています。

建築基準法第 28 条によって、使用制限されたホルムアルデヒドについては、その放散速度により 4 段階が設けられました。オルタックスカイの材料は、日本ウレタン建材工業会の自主規則申請登録制度により、最高等級であるF☆☆☆☆認定を受けています。

※オルタックスカイシリーズの防水材は特定化学物質予規則（特化則）の対象となります。

同規則に従って施工を行ってください。 ※日本ウレタン建材工業会、一般社団法人全国防水工事業協会著「MOCAを含むウレタン防水材の取扱いについて」参照

(オルタックエース、オルタックモード、オルタックサンキュア、GO-JIN、オルタックスプレーは特化則非該当品です)

# 仕様番号の見かた

(仕様例)

# OSTM - 3 VS

オルタックスカイ

工 法

TW: 複合法
PM: パラペット・笠木工法
TB: パリボード工法
TI: 断熱工法
TP: 防湿層付断熱工法
TM: 密着メッシュ入り工法
TL: 密着メッシュなし工法
VP: 巾木・側溝用工法
MM: 既存ウレタンのかぶせ改修 :(密着メッシュ入り)
ML: 既存ウレタンのかぶせ改修 (密着メッシュなし)

防水材使用量

2 : 2.0kg/㎡
3 : 3.5kg/㎡
6 : 3.0kg/㎡
8 : 2.5kg/㎡
15 : 1.5mm
40 : 4.0mm
50 : 5.0mm
60 : 6.0mm

防水材種別

V: VR  
(無印): スカイ

保護塗料種別

SC: OTコートシリコンクール
S: OTコートシリコン
C: OTコートクール
A: OTコートA
TH: SPサーモコート・SPスーパーサーモコート
QS: 速硬化OTコートシリコン
QA: 速硬化OTコートA

## アイコンの説明



速硬化型の工法であることを示します。



断熱材を使用していることを示します。



防湿層付きの工法であることを示します。



環境対応しています。

## 防水仕様選定基準

用途	工 法	解 説	
一般的な屋根	複合法 (OSTW)	新築にも改修にも対応した標準仕様です	P9
下地の水分が多い屋根	パリボード複合絶縁工法 (OSTB)	下地の水分が多い屋根や下地がタイルやブロック敷きの屋根の改修に	P10
パラペット・笠木	笠木工法 (OSPM/OSPL)	パラペット笠木などの防水に	P11
巾木・側溝用工法	巾木・側溝用工法 (OSVP)	共用廊下やベランダなどの狭い巾木や側溝部位に	P12
断熱効果の高い屋根	断熱複合法 (OSTI/OSTP)	屋内の断熱効果と建物保護をご希望の方に	P13
複雑な形状の屋根	密着M・L工法 (OSTM/OSTL)	出入隅の多い屋根などの防水をお考えの方に	P15・16
バルコニー・ベランダ	バルコニー・ベランダ工法 (OSTM-V/OSTL-V)	ベランダや庇等勾配がはっきりしている部位の防水に	P17
屋上運動場	スポーツサーフェス・厚塗り工法 (OSTW/OSTM)	学校や病院などで屋上を積極的に活用したい方に	P19
荒れた下地など	SL工法 (OSSL)	様々な下地に対応できる新しい防水工法です	P21



# 目次

<b>製品紹介</b> .....	3
オルタックスカイシリーズのバリエーション .....	4
オルタックスカイ製品紹介 .....	5
環境対応への取組み .....	6
仕様番号の見方 .....	7
<b>防水仕様</b> .....	
複合法 .....	9
バリボード複合絶縁工法 .....	10
パラペット・笠木工法 .....	11
巾木・側溝工法 .....	12
断熱複合法 .....	13
密着メッシュ入り工法 .....	15
密着メッシュなし工法 .....	16
バルコニー・ベランダ工法 .....	17
スポーツサーフェス・厚塗り工法 .....	19
機械的固定SL工法 .....	21
増し塗り工法 .....	23
官公庁仕様 .....	25
各仕様諸注意 .....	27
<b>材料・工法の解説</b> .....	
複合法 (オルタックシートGS) .....	29
バリボード複合絶縁工法 .....	31
断熱複合法 .....	32
オルタックSL工法の耐風圧性 .....	33
機能性保護塗料 .....	35
各種材料の組合せ .....	37
防水材の塗り重ね .....	38
材料の乾燥・硬化時間 .....	39
通気材・ドレン等の納め方 .....	40
ヘリサイン .....	41
<b>製品紹介</b> .....	
仕上げ材 .....	43
下地処理材/接着剤 .....	45
防水・緩衝シート/断熱材 .....	46
施工器具 .....	47
汎用溶剤タイプ .....	48
副資材 .....	49
<b>製品一覧表</b> .....	51

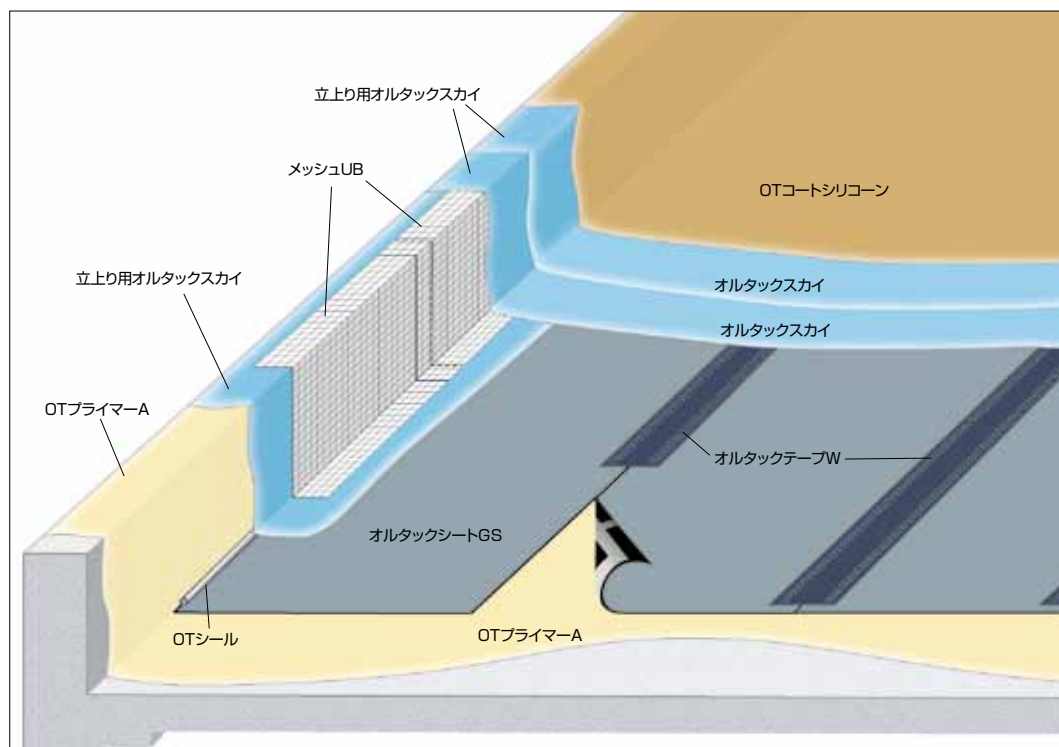
## オルタックスカイ

(単位: kg/m<sup>2</sup>)


仕様/工程	1	2	3	4	5	6
<b>OSTW-3S</b>	OTプライマーA 0.2	オルタックシート GS*	オルタックスカイ 2.0	オルタックスカイ 1.5	OTコートシリコーン 0.2	-
<b>OSTW-3A</b>					OTコートA 0.2	
<b>立上り</b>	OTプライマーA 0.2	立上り用 オルタックスカイ 0.3	メッシュUB	立上り用 オルタックスカイ 1.7	立上り用 オルタックスカイ 1.0	OTコート各種 0.2

※オルタックシートGSに代えて、オルタックシートWSも使用できます

仕  
様



OSTW - 3S

 ご使用の際は各仕様諸注意P27をご参照ください。

※ 保護塗料は選択出来ます。詳細はP43の製品紹介をご参照ください。(価格は保護塗料により異なります。詳細は価格表をご参照ください。)

SC:OTコートシリコーンクール/QS:速硬化OTコートシリコーン/S:OTコートシリコーン/C:OTコートクール/

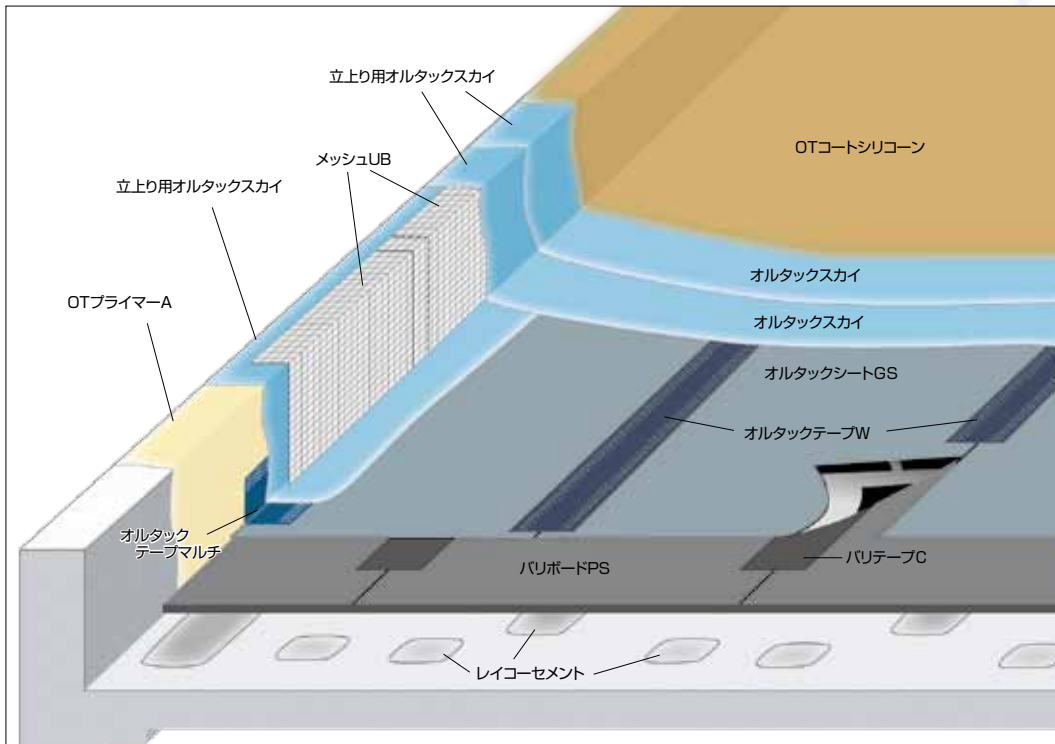
QA:速硬化OTコートA/A:OTコートA

## オルタックスカイ

(単位: kg/m<sup>2</sup>)

仕様/工程	1	2	3	4	5	6	7
<b>OSTB-3S</b>	レイコーセメント 0.5 (点貼り)	バリボードPS	オルタックシート GS*	オルタックスカイ 2.0	オルタックスカイ 1.5	OTコートシリコン 0.2	-
<b>OSTB-3A</b>						OTコートA 0.2	
<b>立上り</b>	OTプライマーA 0.2	オルタック テープマルチ	立上り用 オルタックスカイ 0.3	メッシュUB	立上り用 オルタックスカイ 1.7	立上り用 オルタックスカイ 1.0	OTコート各種 0.2

※オルタックシートGSに代えて、オルタックシートWSも使用できます



OSTB-3S



☞ ご使用の際は各仕様諸注意P27をご参照ください。

※ 保護塗料は選択出来ます。詳細はP43の製品紹介をご参照ください。(価格は保護塗料により異なります。詳細は価格表をご参照ください。)  
 SC:OTコートシリコンクール/QS:速硬化OTコートシリコン/S:OTコートシリコン/C:OTコートクール/  
 QA:速硬化OTコートA/A:OTコートA

## オルタックスカイ

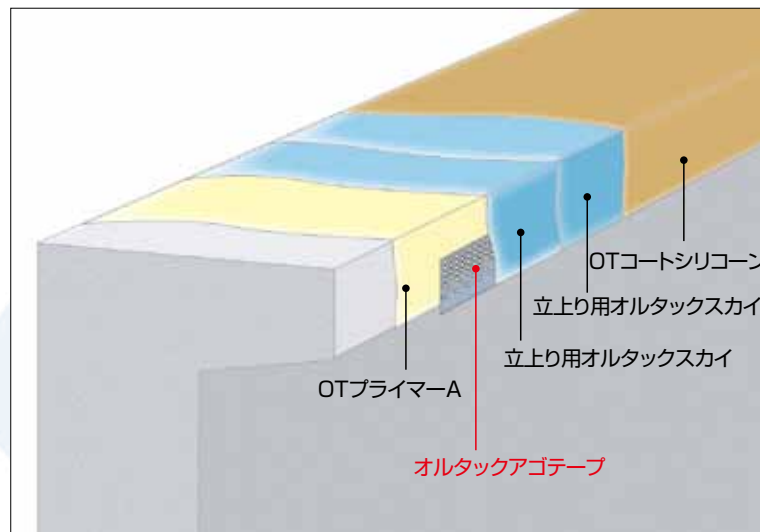
(単位: kg/m<sup>2</sup>)

仕様/工程	1	2	3	4	5	6
<b>OSPM-8S</b>	OTプライマーA 0.2	立上り用 オルタックスカイ 0.3	メッシュUB	立上り用 オルタックスカイ 1.2	立上り用 オルタックスカイ 1.0	OTコートシリコン 0.2
<b>OSPM-8A</b>						OTコートA 0.2

## オルタックスカイ

(単位: kg/m<sup>2</sup>)

仕様/工程	1	2	3	4
<b>OSPL-8S</b>	OTプライマーA 0.2	立上り用 オルタックスカイ 1.5	立上り用 オルタックスカイ 1.0	OTコートシリコン 0.2
<b>OSPL-8A</b>				OTコートA 0.2



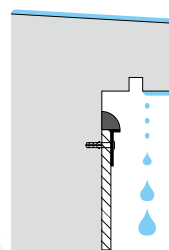
OSPL-8S (アゴテープ使用例)



オルタックアゴテープ

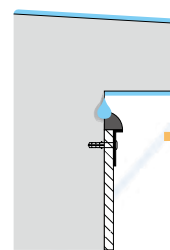
**オルタックアゴテープが雨水の浸入をシャットアウト!**

健全なパラペット形状



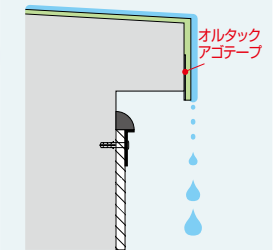
水切りがある場合

形状不良のパラペット



水切りが無い場合

改良



オルタックアゴテープを使用した場合

☞ ご使用の際は各仕様諸注意P27をご参照ください。

※ 保護塗料は選択出来ます。詳細はP43の製品紹介をご参照ください。(価格は保護塗料により異なります。詳細は価格表をご参照ください。)

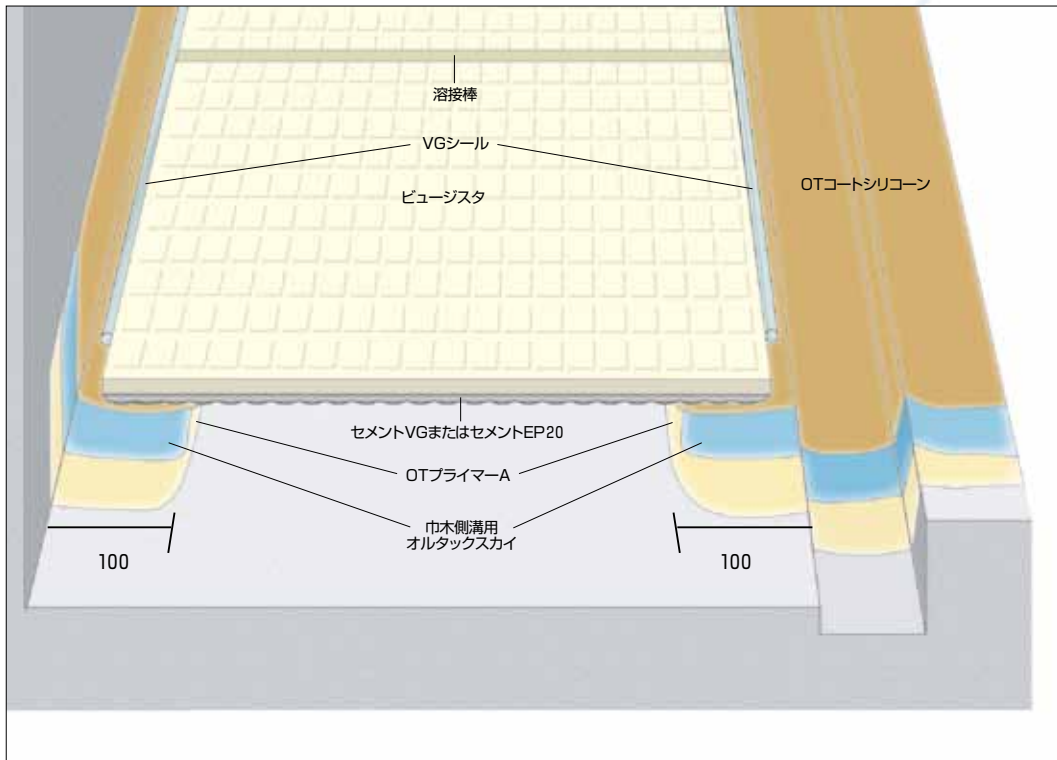
SC:OTコートシリコンクール/QS:速硬化OTコートシリコン/S:OTコートシリコン/C:OTコートクール/

QA:速硬化OTコートA/A:OTコートA


## 耐候・防滑性ビニル床シート＋ウレタン防水工法

(単位：kg/m<sup>2</sup>)

仕様/工程	1	2	3
ビュージスタVP仕様	セメントVGまたはセメントEP20 0.3~0.36	ビュージスタ	端末：VGシール ジョイント：溶接棒
OSVP-2S	OTプライマーA 0.2	巾木側溝用 オルタックスカイ 2.0	OTコートシリコン 0.2
OSVP-2A			OTコートA 0.2



OSVP-2S

 ご使用の際は各仕様諸注意P27をご参照ください。

※ 保護塗料は選択出来ます。詳細はP43の製品紹介をご参照ください。(価格は保護塗料により異なります。詳細は価格表をご参照ください)  
 SC:OTコートシリコンクール/QS:速硬化OTコートシリコン/S:OTコートシリコン/C:OTコートクール/  
 QA:速硬化OTコートA/A:OTコートA

## オルタックスカイ

(単位: kg/m<sup>2</sup>)

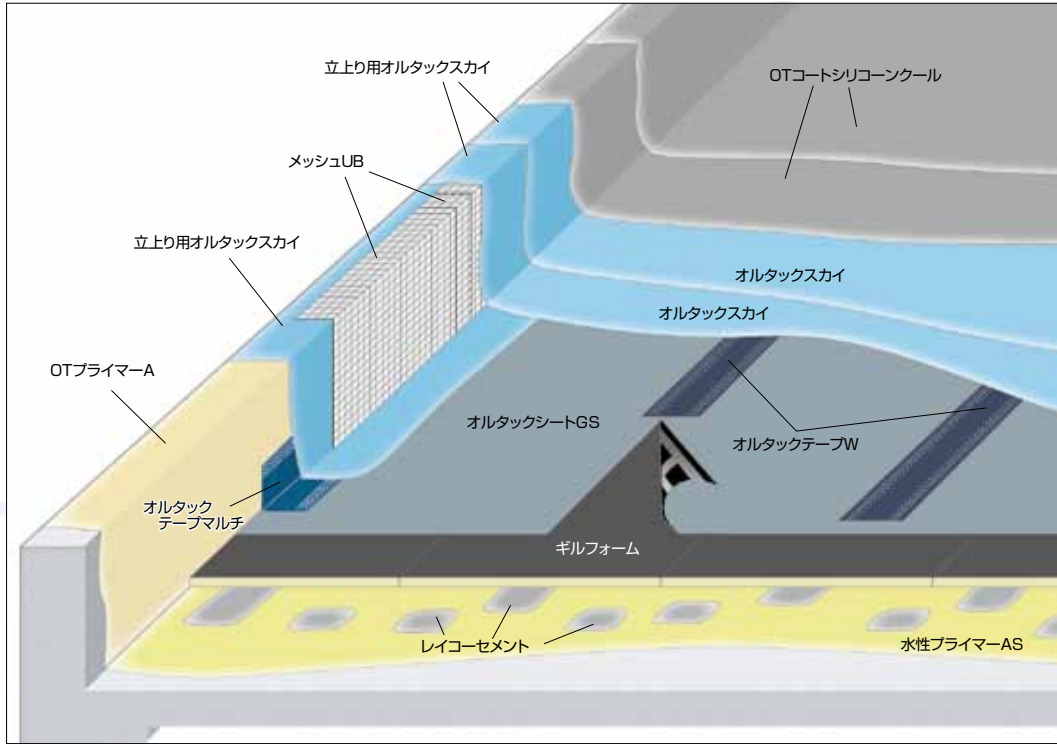
仕様/工程	1	2	3	4	5	6	7	8
<b>OSTI-3SC</b>	水性 プライマーAS 0.2	レイコセメント 0.8 (点貼り)	ギルフォーム	オルタック シートGS	オルタックスカイ 2.0	オルタックスカイ 1.5	OTコートシリコン クール 0.2	OTコートシリコン クール 0.2
<b>立上り</b>	OTプライマーA 0.2	オルタック テープマルチ	立上り用 オルタックスカイ 0.3	メッシュUB	立上り用 オルタックスカイ 1.7	立上り用 オルタックスカイ 1.0	OTコートシリコン クール 0.2	OTコートシリコン クール 0.2

仕  
様

## 防湿層付き オルタックスカイ

(単位: kg/m<sup>2</sup>)

仕様/工程	1	2	3	4	5	6	7	8
<b>OSTP-3SC</b>	水性 プライマーAS 0.2	ダンパー シート	ギルフォーム	オルタック シートGS	オルタックスカイ 2.0	オルタックスカイ 1.5	OTコートシリコン クール 0.2	OTコートシリコン クール 0.2
<b>立上り</b>	OTプライマーA 0.2	オルタック テープマルチ	立上り用 オルタックスカイ 0.3	メッシュUB	立上り用 オルタックスカイ 1.7	立上り用 オルタックスカイ 1.0	OTコートシリコン クール 0.2	OTコートシリコン クール 0.2



OSTI - 3SC



☞ ご使用の際は各仕様諸注意P27をご参照ください。

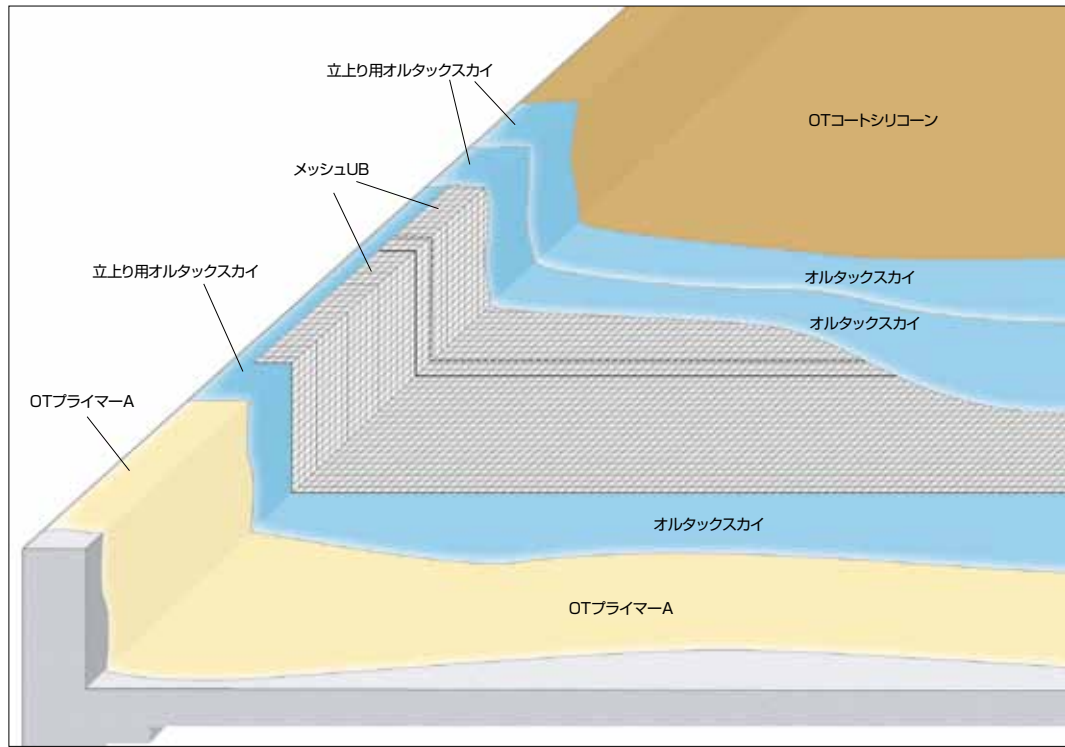
※ 保護塗料OTコートシリコンコンクールに代えて、SPサーモコート、SPスーパーサーモコートで仕上げる場合は、工程6の後、伸介プライマーとして速硬化OTプライマーMブルー (0.1kg/m<sup>2</sup>) を塗布し、SPサーモコートまたはSPスーパーサーモコートの2回塗り (0.5kg/m<sup>2</sup>+ 0.5kg/m<sup>2</sup>) を行ってください。

## オルタックスカイ

(単位: kg/m<sup>2</sup>)

仕様/工程	1	2	3	4	5	6
<b>OSTM-3S</b>	OTプライマーA 0.2	オルタックスカイ 0.3	メッシュUB	オルタックスカイ 1.7	オルタックスカイ 1.5	OTコートシリコン 0.2
<b>OSTM-3A</b>						OTコートA 0.2
<b>立上り</b>	OTプライマーA 0.2	立上り用 オルタックスカイ 0.3	メッシュUB	立上り用 オルタックスカイ 1.7	立上り用 オルタックスカイ 1.0	OTコート各種 0.2

仕様



OSTM-3S

☞ ご使用の際は各仕様諸注意P27をご参照ください。

※ 保護塗料は選択出来ます。詳細はP43の製品紹介をご参照ください。(価格は保護塗料により異なります。詳細は価格表をご参照ください。)

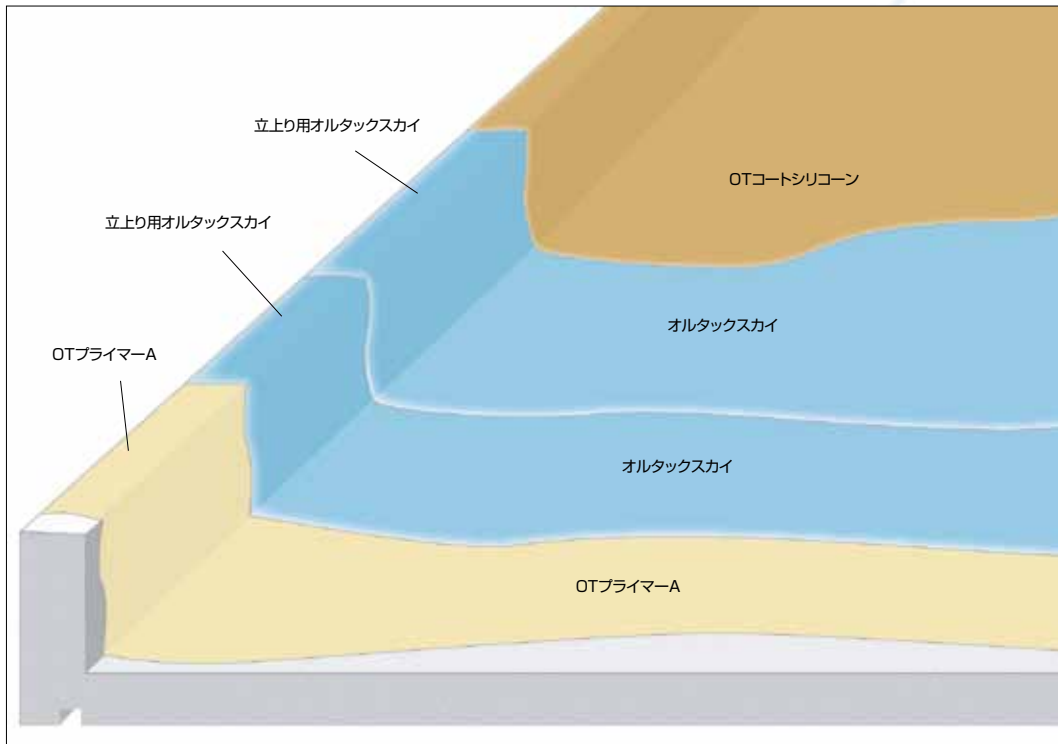
SC:OTコートシリコンクール/QS:速硬化OTコートシリコン/S:OTコートシリコン/C:OTコートクール/  
QA:速硬化OTコートA/A:OTコートA



## オルタックスカイ

(単位: kg/m<sup>2</sup>)

仕様/工程	1	2	3	4
<b>OSTL-6S</b>	OTプライマーA 0.2	オルタックスカイ 2.0	オルタックスカイ 1.0	OTコートシリコン 0.2
<b>OSTL-6A</b>				OTコートA 0.2
<b>立上り</b>	OTプライマーA 0.2	立上り用 オルタックスカイ 1.5	立上り用 オルタックスカイ 1.0	OTコート各種 0.2



OSTL-6S

仕様

☞ ご使用の際は各仕様諸注意P28をご参照ください。

※ 保護塗料は選択出来ます。詳細はP43の製品紹介をご参照ください。(価格は保護塗料により異なります。詳細は価格表をご参照ください)  
 SC:OTコートシリコンクール/QS:速硬化OTコートシリコン/S:OTコートシリコン/C:OTコートクール/  
 QA:速硬化OTコートA/A:OTコートA

## オルタックスカイVR

(単位: kg/m<sup>2</sup>)

仕様/工程	1	2	3	4	5	6
<b>OSTM-3VS</b>	OTプライマーA 0.2	オルタックスカイ VR 0.3	メッシュUB	オルタックスカイ VR 1.7	オルタックスカイ VR 1.5	OTコートシリコン 0.2
<b>OSTM-3VA</b>						OTコートA 0.2
<b>立上り</b>	OTプライマーA 0.2	立上り用 オルタックスカイ 0.3	メッシュUB	立上り用 オルタックスカイ 1.7	立上り用 オルタックスカイ 1.0	OTコート各種 0.2

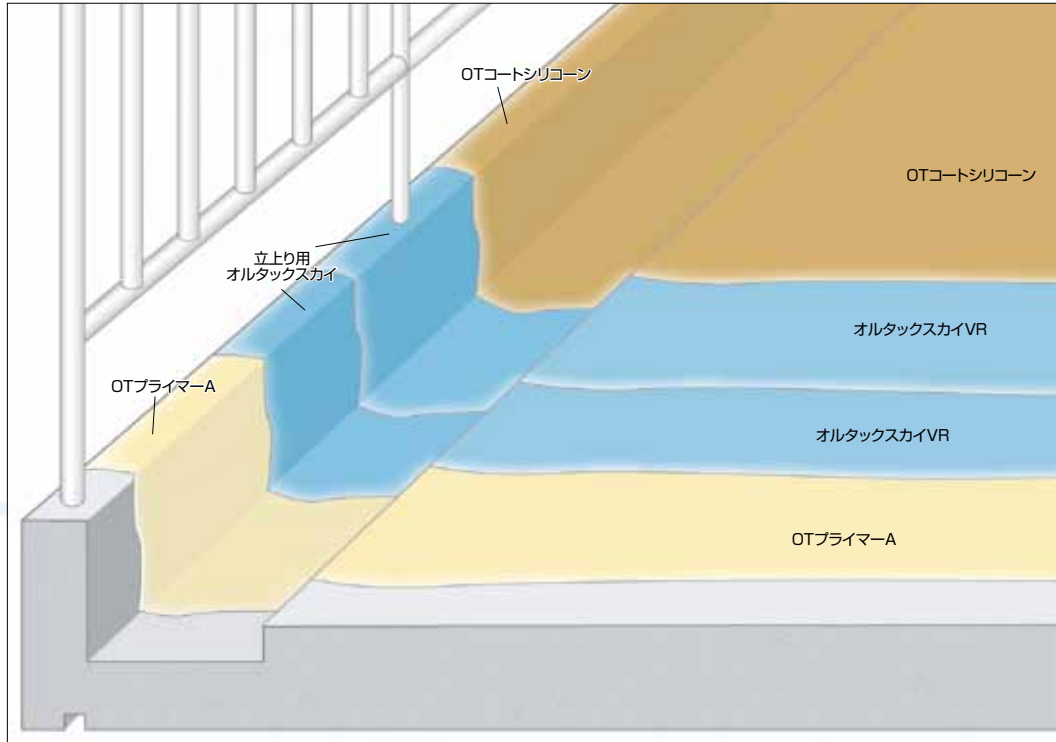
(単位: kg/m<sup>2</sup>)

仕様/工程	1	2	3	4
<b>OSTL-6VS</b>	OTプライマーA 0.2	オルタックスカイ VR 2.0	オルタックスカイ VR 1.0	OTコートシリコン 0.2
<b>OSTL-6VA</b>				OTコートA 0.2
<b>立上り</b>	OTプライマーA 0.2	立上り用 オルタックスカイ 1.5	立上り用 オルタックスカイ 1.0	OTコート各種 0.2

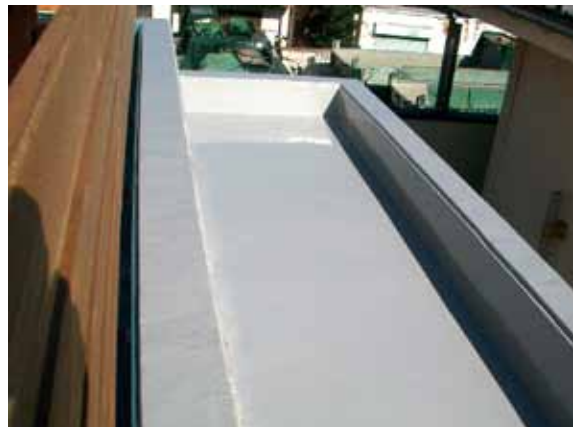
(単位: kg/m<sup>2</sup>)

仕様/工程	1	2	3	4
<b>OSTL-8VS</b>	OTプライマーA 0.2	オルタックスカイ VR 1.5	オルタックスカイ VR 1.0	OTコートシリコン 0.2
<b>OSTL-8VA</b>				OTコートA 0.2
<b>立上り</b>	OTプライマーA 0.2	立上り用 オルタックスカイ 1.5	立上り用 オルタックスカイ 1.0	OTコート各種 0.2

※ 立上り高さの低いバルコニー・ベランダの中木側溝部分は立上り用オルタックスカイに代えて中木側溝用オルタックスカイを用いる事も出来ます。



OSTL-8VS



☞ ご使用の際は各仕様諸注意P28をご参照ください。

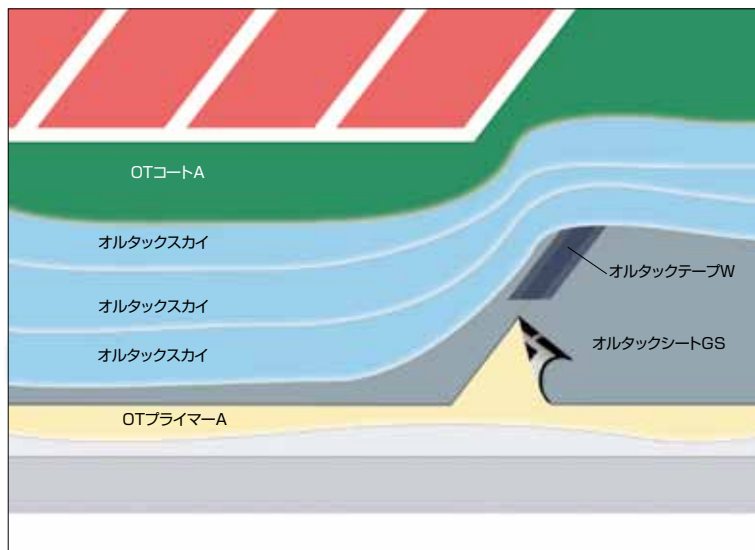
※ 保護塗料は選択出来ます。詳細はP43の製品紹介をご参照ください。(価格は保護塗料により異なります。詳細は価格表をご参照ください)  
 SC:OTコートシリコーンクール/QS:速硬化OTコートシリコーン/S:OTコートシリコーン/C:OTコートクール/  
 QA:速硬化OTコートA/A:OTコートA

## 複合工法 オルタックスカイ

(単位: kg/m<sup>2</sup>)

仕様/工程	1	2	3	4	5	6	(塗膜厚さ)
製品名	OTプライマーA	オルタックシートGS*	オルタックスカイ	オルタックスカイ	オルタックスカイ	OTコートA	
<b>OSTW-40A</b>	0.2		2.4	2.4	—	0.2	4mm
<b>OSTW-50A</b>			2.4	2.4	1.2		5mm
<b>OSTW-60A</b>			2.4	2.4	2.4		6mm

※オルタックシートGSに代えて、オルタックシートWSも使用できます。



OSTW - 60A

☞ ご使用の際は各仕様諸注意P28をご参照ください。

※ 保護塗料は選択出来ます。詳細はP43の製品紹介をご参照ください。(価格は保護塗料により異なります。詳細は価格表をご参照ください)  
 SC:OTコートシリコンクール/QS:速硬化OTコートシリコン/S:OTコートシリコン/C:OTコートクール/  
 QA:速硬化OTコートA/A:OTコートA

## 密着メッシュ入り工法 オルタックスカイ

(単位: kg/m)

仕様/工程	1	2	3	4	5	6	7	(塗膜厚さ)
製品名	OTプライマーA	オルタックスカイ	メッシュUB	オルタックスカイ	オルタックスカイ	オルタックスカイ	OTコートA	
<b>OSTM-40A</b>				2.1	2.4	—		4mm
<b>OSTM-50A</b>	0.2	0.3		2.1	2.4	1.2	0.2	5mm
<b>OSTM-60A</b>				2.1	2.4	2.4		6mm

仕様



☞ ご使用の際は各仕様諸注意P28をご参照ください。

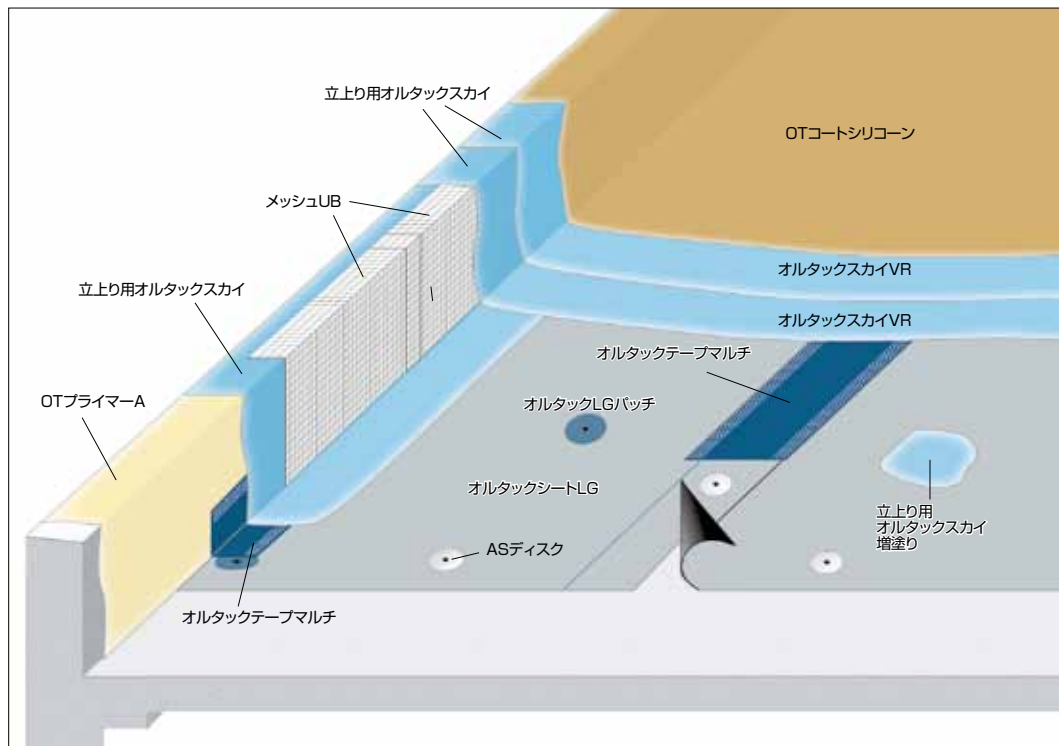
※ 保護塗料は選択出来ます。詳細はP43の製品紹介をご参照ください。(価格は保護塗料により異なります。詳細は価格表をご参照ください)  
 SC:OTコートシリコンクール/QS:速硬化OTコートシリコン/S:OTコートシリコン/C:OTコートクール/  
 QA:速硬化OTコートA/A:OTコートA

## オルタックスカイVR

(単位: kg/m<sup>2</sup>)

仕様/工程	1	2	3	4	5	6	7
<b>OSSL-3S</b>	オルタックシート LG	ASディスク 2.2本 /UPアンカー	オルタックLG/パッチ/ オルタックテープマルチ 立上り用 オルタックスカイ 増塗り*	オルタックスカイ VR 2.0	オルタックスカイ VR 1.5	OTコートシリコン 0.2	-
<b>OSSL-3A</b>						OTコートA 0.2	
<b>立上り</b>	OTプライマー-A 0.2	オルタック テープマルチ (立上り・入隅部)	立上り用 オルタックスカイ 0.3	メッシュUB	立上り用 オルタックスカイ 1.7	立上り用 オルタックスカイ 1.0	OTコート各種 0.2

仕様



OSSL-3S

\* LG/パッチとテープマルチの上には、立上り用オルタックスカイを用いて、塗膜厚1.0mm以上を確保するように増塗りします。目安としては、m<sup>2</sup>換算1.4kg使用します。

☞ ご使用の際は各仕様諸注意P28をご参照ください。

※ 保護塗料は選択出来ます。詳細はP43の製品紹介をご参照ください。(価格は保護塗料により異なります。詳細は価格表をご参照ください)  
 SC:OTコートシリコンクール/QS:速硬化OTコートシリコン/S:OTコートシリコン/C:OTコートクール/  
 QA:速硬化OTコートA/A:OTコートA

## 機械的固定工法専用下貼りシート「オルタックシートLG」

機械的固定SL工法は、強靱な『オルタックシートLG』を『ディスク+アンカー』で下地に固定し、ウレタン塗膜防水で仕上げる複合工法です。

機械的固定工法の最大の特長は、さまざまな種類の下地でも大掛かりな処理をせずにオルタックシートLGの施工ができるので、下地処理の手間が大幅に削減できることです。

また、アンカー固定した箇所以外は下地と防水層は接着していないので、下地に残存した水分は自由に拡散し、水分の影響による局部的なふくれを生じません。さらに、ひび割れなど下地の動きによる防水層への影響を受けにくいなどの特長があり、改修工事に適した工法です。

### オルタックシートLGの特長

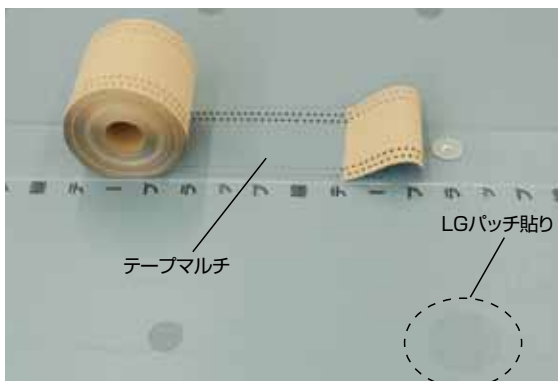
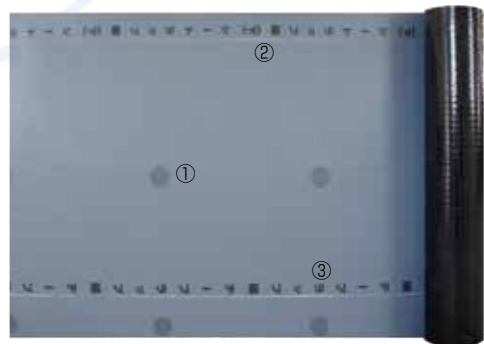


オルタックシートLG仮敷き

オルタックシートLGはハイブリッド型3軸ガラスメッシュ・改質アスファルト・特殊プラスチックフィルムで構成した下貼りシートであり、単独でも十分な防水性能を有している高品質のシートです。  
表面には特殊塗料をコーティングしたプラスチックフィルムを使用しており、プライマーなしでウレタン防水を施工できます。また、突然の降雨にも雨養生が簡単に行えます。

#### ■ オルタックシートLGのラインについて

オルタックシートLGの表面には、①ディスク固定位置と、②シートラップ線、③テープラップ線が印刷してあります。



オルタックシートLGジョイント部：  
オルタックテープマルチ貼付け

\* 部分的な固定による工法の性質上、下貼りシートが浮き、シワが発生する場合がありますが、防水機能上の問題はありません。

### オルタックテープマルチ

オルタックテープマルチは、テープの両サイドに開けた小さな穴からウレタンが流れ込んで接着することによってテープ端部の破断抵抗が少なくなり、シート同士の強度を維持することができます。  
また、立上り入隅部の絶縁・補強としても使用します。

### オルタックLGパッチ

オルタックLGパッチは、裏面に粘着層が付いているため簡単に施工できます。  
また、固定ディスクを確実に覆うサイズになっていますので、機械的固定工法の弱点となりやすいディスク廻りの処理も万全のシステムとなっています。

## 一般的な屋根 オルタックスカイ

(単位: kg/m<sup>2</sup>)

仕様/工程	1	2	3	4	5	6
<b>OSMM-3S</b>	速硬化 OTプライマーM ブルー 0.1	オルタックスカイ 0.3	メッシュUB	オルタックスカイ 1.7	オルタックスカイ 1.5	OTコートシリコン 0.2
<b>OSMM-3A</b>						OTコートA 0.2
<b>立上り</b>	速硬化 OTプライマーM ブルー 0.1	立上り用 オルタックスカイ 0.3	メッシュUB	立上り用 オルタックスカイ 1.7	立上り用 オルタックスカイ 1.0	OTコート各種 0.2

仕様

(単位: kg/m<sup>2</sup>)

仕様/工程	1	2	3	4
<b>OSML-6S</b>	速硬化 OTプライマーM ブルー 0.1	オルタックスカイ 2.0	オルタックスカイ 1.0	OTコートシリコン 0.2
<b>OSML-6A</b>				OTコートA 0.2
<b>立上り</b>	速硬化 OTプライマーM ブルー 0.1	立上り用 オルタックスカイ 1.5	立上り用 オルタックスカイ 1.0	OTコート各種 0.2



## バルコニー・ベランダ オルタックスカイ

(単位：kg/m<sup>2</sup>)

仕様/工程	1	2	3	4	5	6
<b>OSMM-3VS</b>	速硬化 OTプライマーM ブルー 0.1	オルタックスカイVR 0.3	メッシュUB	オルタックスカイVR 1.7	オルタックスカイVR 1.5	OTコートシリコン 0.2
<b>OSMM-3VA</b>						OTコートA 0.2
<b>立上り</b>	速硬化 OTプライマーMブルー 0.1	立上り用 オルタックスカイ 0.3	メッシュUB	立上り用 オルタックスカイ 1.7	立上り用 オルタックスカイ 1.0	OTコート各種 0.2

(単位：kg/m<sup>2</sup>)

仕様/工程	1	2	3	4
<b>OSML-6VS</b>	速硬化 OTプライマーM ブルー 0.1	オルタックスカイVR 2.0	オルタックスカイVR 1.0	OTコートシリコン 0.2
<b>OSML-6VA</b>				OTコートA 0.2
<b>立上り</b>	速硬化 OTプライマーMブルー 0.1	立上り用 オルタックスカイ 1.5	立上り用 オルタックスカイ 1.0	OTコート各種 0.2

(単位：kg/m<sup>2</sup>)

仕様/工程	1	2	3
<b>OSML-15VS</b>	速硬化 OTプライマーM ブルー 0.1	オルタックスカイVR 2.1	OTコートシリコン 0.2
<b>OSML-15VA</b>			OTコートA 0.2
<b>立上り</b>	速硬化 OTプライマーMブルー 0.1	立上り用 オルタックスカイ 2.0	OTコート各種 0.2

仕様

☞ ご使用の際は各仕様諸注意P28をご参照ください。

※ 保護塗料は選択出来ます。詳細はP43の製品紹介をご参照ください。(価格は保護塗料により異なります。詳細は価格表をご参照ください)  
 SC:OTコートシリコンクール/S:OTコートシリコン/QS:速硬化OTコートシリコン/C:OTコートクール/  
 A:OTコートA/QA:速硬化OTコートA/

## 脱TX低臭システム

### オルタックスカイ仕様 X-1/X-2

(単位: kg/m<sup>2</sup>)

X-1	1		2	3	4
	接着剤塗り 0.3	通気緩衝シート張り	ウレタンゴム系塗膜防水材塗り	ウレタンゴム系塗膜防水材塗り	仕上塗料塗り —
OTプライマーA 0.2	オルタックシート類	オルタックスカイ 1.8	オルタックスカイ 1.8	OTコートA 0.2	

(単位: kg/m<sup>2</sup>)

X-2	1	2		3	4	5
	プライマー塗り 0.2	ウレタンゴム系塗膜防水材塗り 0.3	補強布張り	ウレタンゴム系塗膜防水材塗り	ウレタンゴム系塗膜防水材塗り	仕上塗料塗り —
OTプライマーA 0.2	オルタックスカイ 0.4	メッシュUB	オルタックスカイ 1.8	オルタックスカイ 1.4	OTコートA 0.2	
立上り	OTプライマーA 0.2	立上り用 オルタックスカイ 0.4	メッシュUB	立上り用 オルタックスカイ 1.2	立上り用 オルタックスカイ 1.0	OTコートA 0.2

### オルタックスカイUC仕様 X-1/X-2

(単位: kg/m<sup>2</sup>)

X-1	1		2	3	4
	接着剤塗り 0.3	通気緩衝シート張り	ウレタンゴム系塗膜防水材塗り	ウレタンゴム系塗膜防水材塗り	仕上塗料塗り —
OTプライマーA 0.2	オルタックシート類	オルタックスカイUC 2.1	オルタックスカイUC 2.1	OTコートA 0.2	

(単位: kg/m<sup>2</sup>)

X-2	1	2		3	4	5
	プライマー塗り 0.2	ウレタンゴム系塗膜防水材塗り 0.3	補強布張り	ウレタンゴム系塗膜防水材塗り	ウレタンゴム系塗膜防水材塗り	仕上塗料塗り —
OTプライマーA 0.2	オルタックスカイUC 0.4	メッシュUB	オルタックスカイUC 2.1	オルタックスカイUC 1.7	OTコートA 0.2	
立上り	OTプライマーA 0.2	立上り用 オルタックスカイ 0.4	メッシュUB	立上り用 オルタックスカイ 1.2	立上り用 オルタックスカイ 1.0	OTコートA 0.2

※ 保護塗料は選択する事が出来ます。  
(価格は保護塗料により異なります。詳細は価格表をご参照ください。)

高耐久・高反射性保護塗料	OTコートシリコンクール
高耐久性保護塗料	OTコートシリコン・速硬化OTコートシリコン
高反射性保護塗料	OTコートクール
水系保護塗料	OTコート水系
アクリルウレタン系保護	OTコートA・速硬化OTコートA

水性プライマー&水系保護塗料システム  
 オルタックスカイ仕様 X-1/X-2

(単位: kg/m<sup>2</sup>)

X-1	1		2	3	4
	接着剤塗り 0.3	通気緩衝シート張り	ウレタンゴム系塗膜防水材塗り	ウレタンゴム系塗膜防水材塗り	仕上塗料塗り —
		3.0			
水性プライマーAS 0.2	オルタックスカイ	オルタックスカイ 1.8	オルタックスカイ 1.8	OTコート水系 0.2	

(単位: kg/m<sup>2</sup>)

X-2	1	2		3	4	5
	プライマー塗り 0.2	ウレタンゴム系塗膜防水材塗り 0.3	補強布張り	ウレタンゴム系塗膜防水材塗り	ウレタンゴム系塗膜防水材塗り	仕上塗料塗り —
			2.7 (1.7)			
OTプライマー水系 18 0.2	オルタックスカイ 0.4	メッシュUB	オルタックスカイ 1.8	オルタックスカイ 1.4	OTコート水系 0.2	
<b>立上り</b>	立上り用 オルタックスカイ 0.4	メッシュUB	立上り用 オルタックスカイ 1.2	立上り用 オルタックスカイ 1.0	OTコート水系 0.2	

- ※ 表中、細字で表記されているウレタン防水材塗りの使用量は、硬化物比重 (= 硬化物密度) が1.0である材料の場合を示しており、硬化物比重がこれ以外の場合にあっては、所要塗膜厚を確保するように使用量を換算する(下の表参照)。
- ※ 接着剤以外による通気緩衝シートの張付け方法は、主材料製造所の仕様による。
- ※ 仕上げ塗料の種類及び使用量は特記による。

- ・X-1の立上りはX-2立上り仕様を適用します。
- ・オルタックスカイ系の裏面には接着層が0.35kg/m<sup>2</sup>コーティングしてあります。
- ・立上がり部は、X-2の工程3及び工程4を( )内とします。
- ・ウレタン防水材の硬化物密度 (Mg/m<sup>3</sup>) は右の通りです。

オルタックスカイ	1.2
オルタックスカイUC、VR	1.4
立上り用オルタックスカイ	1.3

## 複合法 OSTW (P9)

- 下地がコンクリート・モルタル以外の場合は、プライマーを変更する必要があります。
- 気象条件によりウレタン防水材を減粘させる場合は、専用減粘材の「アジャストE」を必ずご使用ください。(5%以下)  
※ 一般の溶剤(トルエン・キシレン)は使用しないでください。
- 冬季などでウレタン防水材の硬化を早める場合には、専用の硬化促進剤「オルタック硬化促進剤」を必ずご使用ください。
- 複合法では、ふくれ防止のため下記いずれかの通気材を設置してください。  
平 場：ステンレスペーパー(70㎡に1ヶ所程度)  
立上り：立上り用ステンレスペーパー(10m間隔程度)
- 防水層を長持ちさせるためにOTコートA仕上げの場合は保護塗料を7年程度毎に塗布することをお勧めします。  
(OTコートシリコン、速硬化OTコートシリコン、OTコートシリコンクールは10年間塗り替え不要)
- 防滑性能を求める場合には、Uチップ又はMチップをOTコート類に添加(OTコート類に対して1箱)してください。  
但し、降雨後などで水が防水層表面にある場合には、滑ることがありますのでご注意ください。

## バリボード複合絶縁工法 OSTB (P10)

- 下地がコンクリート・モルタル以外の場合は、プライマーを変更する必要があります。
- 気象条件によりウレタン防水材を減粘させる場合は、専用減粘材の「アジャストE」を必ずご使用ください。(5%以下)  
※ 一般の溶剤(トルエン・キシレン)は使用しないでください。
- 冬季などでウレタン防水材の硬化を早める場合には、専用の硬化促進剤「オルタック硬化促進剤」を必ずご使用ください。
- バリボード工法では、ふくれ防止のため下記いずれかの通気材を設置してください。  
平 場：ステンレスペーパー(70㎡に1ヶ所程度)  
立上り：立上り用ステンレスペーパー(10m間隔程度)
- 防水層を長持ちさせるためにOTコートA仕上げの場合は保護塗料を7年程度毎に塗布することをお勧めします。  
(OTコートシリコン、速硬化OTコートシリコン、OTコートシリコンクールは10年間塗り替え不要)
- 防滑性能を求める場合には、Uチップ又はMチップをOTコート類に添加(OTコート類に対して1箱)してください。  
但し、降雨後などで水が防水層表面にある場合には、滑ることがありますのでご注意ください。

## パラペット・笠木用工法 OSPM/OSPL (P11)

- 下地がコンクリート・モルタル以外の場合は、プライマーを変更する必要があります。
- 防水層を長持ちさせるためにOTコートA仕上げの場合は保護塗料を7年程度毎に塗布することをお勧めします。  
(OTコートシリコン、速硬化OTコートシリコン、OTコートシリコンクールは10年間塗り替え不要)

## 巾木・側溝用工法 OSVP (P12)

- 荒れた下地の場合、セメントの使用量は0.6kg/㎡程度となります。
- ウレタン塗膜防水として巾木・側溝用オルタックスカイのかわりに立上り用オルタックスカイを用いることもできます。
- ビュージスタ(耐候・防滑性ビニル床シート)に関しては別冊ビュージスタカタログをご覧ください。

## 断熱複合法 OSTI/OSTP (P13)

- 下地がコンクリート・モルタル以外の場合は、プライマーを変更する必要があります。
- 気象条件によりウレタン防水材を減粘させる場合は、専用減粘材の「アジャストE」を必ずご使用ください。(5%以下)  
※ 一般の溶剤(トルエン・キシレン)は使用しないでください。
- 冬季などでウレタン防水材の硬化を早める場合には、専用の硬化促進剤「オルタック硬化促進剤」を必ずご使用ください。
- 断熱工法では、ふくれ防止のため下記いずれかの通気材を設置してください。  
平 場：ステンレスペーパーW(70㎡に1ヶ所程度)  
立上り：立上り用ステンレスペーパー(10m間隔程度)
- 硬質ウレタン系フォーム断熱材(ギルフォーム)は、標準仕様として35mm品ですが、建物用途や地域により厚みを変更することができます。  
ギルフォームの厚み：25mm・30mm・35mm・40mm・50mm・60mm

## 密着メッシュ入り工法 OSTM (P15)

- 下地がコンクリート・モルタル以外の場合は、プライマーを変更する必要があります。
- 気象条件によりウレタン防水材を減粘させる場合は、専用減粘材の「アジャストE」を必ずご使用ください。(5%以下)  
※ 一般の溶剤(トルエン・キシレン)は使用しないでください。
- 冬季などでウレタン防水材の硬化を早める場合には、専用の硬化促進剤「オルタック硬化促進剤」を必ずご使用ください。
- 防水層を長持ちさせるためにOTコートA仕上げの場合は保護塗料を7年程度毎に塗布することをお勧めします。  
(OTコートシリコン、速硬化OTコートシリコン、OTコートシリコンクールは10年間塗り替え不要)
- 防滑性能を求める場合には、Uチップ又はMチップをOTコート類に添加(OTコート類に対して1箱)してください。  
但し、降雨後などで水が防水層表面にある場合には、滑ることがありますのでご注意ください。

## 密着メッシュなし工法 OSTL (P16)

- 気象条件によりウレタン防水材を減粘させる場合は、専用減粘材の「アジャストE」を必ずご使用ください。(5%以下)  
※ 一般の溶剤(トルエン・キシレン)は使用しないでください。
- 冬季などでウレタン防水材の硬化を早める場合には、専用の硬化促進剤「オルタック硬化促進剤」を必ずご使用ください。
- 防水層を長持ちさせるためにOTコートA仕上げの場合は保護塗料を7年程度毎に塗布することをお勧めします。  
(OTコートシリコン、速硬化OTコートシリコン、OTコートシリコンクールは10年間塗り替え不要)
- 防滑性を求める場合には、Uチップ又はMチップをOTコート類に添加(OTコート類に対して1箱)してください。  
但し、降雨後などで水が防水層表面にある場合には、滑ることがありますのでご注意ください。

## バルコニー・ベランダ工法 OSTM-V/OSTL-V (P17)

- 下地がコンクリート・モルタル以外の場合は、プライマーを変更する必要があります。
- 下地が防水モルタルなど特殊なモルタルの場合は、OTプライマーAでは接着不良となる可能性がありますので、事前に接着試験を実施してください。
- 気象条件によりウレタン防水材を減粘させる場合は、専用減粘材の「アジャストE」を必ずご使用ください。(5%以下)  
※ 一般の溶剤(トルエン・キシレン)は使用しないでください。
- 冬季などでウレタン防水材の硬化を早める場合には、専用の硬化促進剤「オルタック硬化促進剤」を必ずご使用ください。
- 防水層を長持ちさせるためにOTコートA仕上げの場合は保護塗料を7年程度毎に塗布することをお勧めします。  
(OTコートシリコン、速硬化OTコートシリコン、OTコートシリコンクールは10年間塗り替え不要)
- 防滑性を求める場合には、Uチップ又はMチップをOTコート類に添加(OTコート類に対して1箱)してください。  
但し、降雨後などで水が防水層表面にある場合には、滑ることがありますのでご注意ください。

## スポーツサーフェス・厚塗り工法 OSTW/OSTM (P19)

- 防滑性を求める場合には、MチップをOTコート類に添加(OTコート類1セットに対し、Mチップ1箱)してください。  
但し、降雨後などで水が防水層表面にある場合には、滑ることがありますのでご注意ください。
- オルタック防水の屋上運動場仕様は、本格的な競技向けの仕様ではありません。
- 屋上の使用頻度によっては、保護塗料の部分摩耗もありますので、専門業者による定期点検を行い塗り替え等を実施してください。  
※ 屋上利用による保護塗料の摩耗・減耗及びウレタン防水材の摩耗・損傷による漏水は、防水保証対象外となります。  
※ 脱気筒を設置する場合は、立上り用ステンレスペーパス等を用いて、屋上利用に支障ない場所への設置をお願いします。
- 防水層を長持ちさせるためにOTコートA仕上げの場合は保護塗料を7年程度毎に塗布することをお勧めします。  
(OTコートシリコン、速硬化OTコートシリコン、OTコートシリコンクールは10年間塗り替え不要)

## 機械的固定SL工法 OSSL (P21)

- \* LG/パッチとテーパーマルチの上には、立上り用オルタックスカイを用いて、塗膜厚1.0mm以上を確保するように増塗りします。目安としては、㎡換算1.4kg使用します。
- 既存シート防水等に施工可能ですがラップの段差等の凸凹は仕上がりに出ます。
- 部分的な固定による工法の性質上、下貼りシートが浮き、シワが発生する場合があります。
- 段差のある部位には、塗膜厚確保の為ウレタン防水材の増し塗りをしてください。
- ポリエチレンフォーム等の上から施工した場合、ディスク設置箇所の沈み込みによるしわが発生する場合があります。
- ご採用の際には、必ずディスクアンカーの引抜き試験を行ってください。引抜き強度が2,600N/本未満の場合は、ご相談ください。
- ALC下地の場合は、ALC下地用のアンカーに代えることで対応できます。詳細はご相談ください。
- 下地が断熱露出工法の際には、ご相談ください。
- 工程2のASディスク・UPアンカーの代わりに、ディスク60・エアピン30または35を使用することもできます。
- オルタックスカイVRを用いることで、下地の凸凹による液流れにもある程度追従できます。  
但し、凹凸の大きい箇所やオルタックスカイVRに減粘剤を使用しますと、液流れ抵抗性が低下しますのでご注意ください。
- 立上り面の下地がコンクリート・モルタル以外の場合は、プライマーを変更する必要があります。
- 気象条件によりウレタン防水材を減粘させる場合は、専用減粘材の「アジャストE」を必ずご使用ください。(5%以下)  
※ 一般の溶剤(トルエン・キシレン)は使用しないでください。
- 冬季などでウレタン防水材の硬化を早める場合には、専用の硬化促進剤「オルタック硬化促進剤」を必ずご使用ください。
- 下地に内在する水分を脱気させるために、下記いずれかの通気材を設置することもあります。  
平場：ステンレスペーパス(100㎡に1ヶ所程度) 立上り：立上り用ステンレスペーパス(15m間隔程度)
- 防水層を長持ちさせるためにOTコートA仕上げの場合は保護塗料を7年程度毎に塗布することをお勧めします。  
(OTコートシリコン、速硬化OTコートシリコン、OTコートシリコンクールは10年間塗り替え不要)

## 増し塗り工法 OSMM/OSML (P23)

- 既存防水層の種類や劣化状況によっては、速硬化OTプライマーMブルーを採用できないこともあります。  
既存防水層の種類・保護塗料の種類・劣化状態などを十分把握し、状況によっては事前に接着試験を実施することを推奨します。
- 気象条件によりウレタン防水材を減粘させる場合は、専用減粘材の「アジャストE」を必ずご使用ください。(5%以下)  
※ 一般の溶剤(トルエン・キシレン)は使用しないでください。
- 冬季などでウレタン防水材の硬化を早める場合には、専用の硬化促進剤「オルタック硬化促進剤」を必ずご使用ください。
- 防水層を長持ちさせるためにOTコートA仕上げの場合は保護塗料を7年程度毎に塗布することをお勧めします。  
(OTコートシリコン、速硬化OTコートシリコン、OTコートシリコンクールは10年間塗り替え不要)
- 防滑性を求める場合には、Uチップ又はMチップをOTコート類に添加(OTコート類に対して1箱)してください。  
但し、降雨後などで水が防水層表面にある場合には、滑ることがありますのでご注意ください。

※ オルタックスカイの上を防滑性ビニル床シートで仕上げる場合は、必ず「ビュージスタ」をご採用ください。  
詳細については、別冊ビュージスタカタログをご覧ください。

# 複合工法 (オルタックシートGS)

～軽量で機能性に優れた専用シート～

《特許出願済》

複合工法は、定形材であるシートと不定形材のウレタン防水材料を組み合わせ防水層を作り上げる工法です。定形材と不定形材の長所を生かすことで、押えコンクリートなど水分を含んだ下地の改修工事への対応を可能にしました。

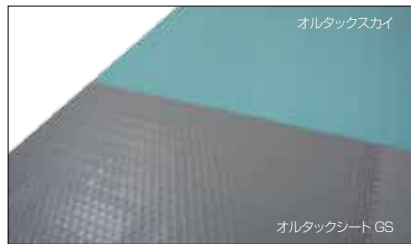
この工法でポイントとなるシートには、『下地の動きをウレタン層に伝えないこと』『下地の水分を上手く脱気させること』『複合シート同士の継ぎ目も確実に強度を保つこと』『施工性の向上』などが要求されます。オルタックシートGSはこれらをテーマにして開発された当社オリジナルの複合工法用シートです。

機能性だけではなく作業性も考慮し、20mの長尺にもかかわらず重量約14kgと軽量さを追求することで取り扱い易さと施工効率アップを実現しました。

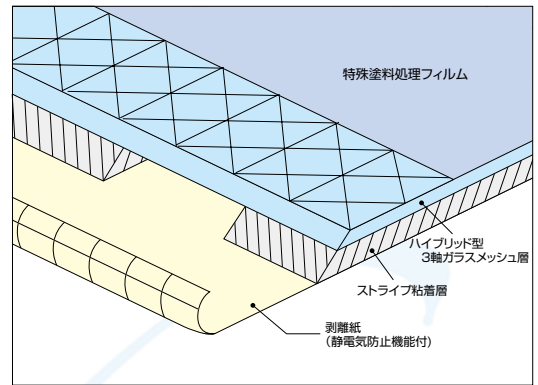
裏面にはストライプ状のゴムアス粘着層が予めコーティングされていますので、接着剤塗布工法のようにオープンタイムが必要ありません。プライマーの塗布・乾燥後、下地に直接オルタックシートGSを施工できるため、施工スピードが大幅にアップします。切り貼り施工が容易ですので、狭い箇所においても作業効率に優れています。

## 下地の動きをウレタン層に伝えないこと

強靱で寸法安定性に優れたハイブリッド型3軸ガラスメッシュを基材としたシートの裏面に、柔軟なゴムアス粘着層をストライプ状に配置しています。ゴムアス粘着層は下地と確実に接着するとともに、ひび割れ等による下地の動きを緩衝して、防水層を保護します



シート表面の凸凹は、オルタックスカイを規定量塗布する事で目立たなくなります。  
※下地の不陸は、事前の下地調整で平滑に仕上げてください。



## オルタック防水層の下地亀裂追従性能

オルタックシートGSのゴムアス粘着層は、下地のひび割れや既存押えコンクリートの動きに対して柔軟に追従し、防水層の破断を防止します。

### ■ 試験体

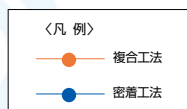
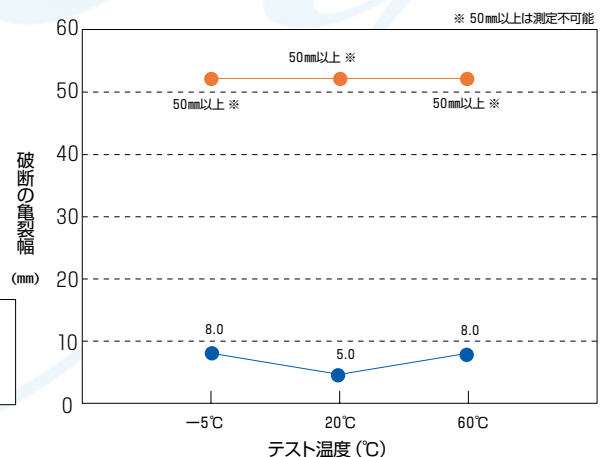
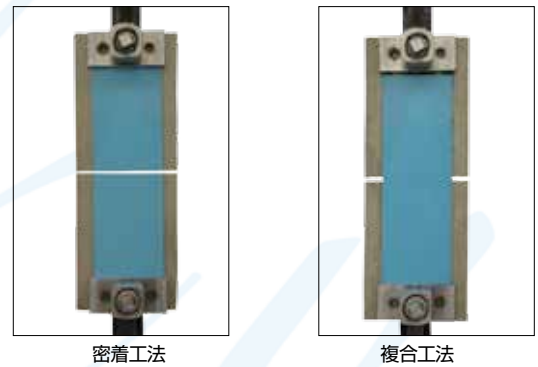
- ①複合工法：オルタックシートGS+オルタックスカイ 3.5kg/m<sup>2</sup>
  - ②密着工法：ウレタン塗膜防水 3.5kg/m<sup>2</sup> (メッシュなし)
- ※ スレート板への貼り付けは標準仕様通りとします。

### ■ 試験方法

予め切り込みを入れたスレート板(400×100mm)に上記防水層を作成、スレート板の両端を10mm/分のスピードで引張り、防水層が破断した亀裂幅を記録します。

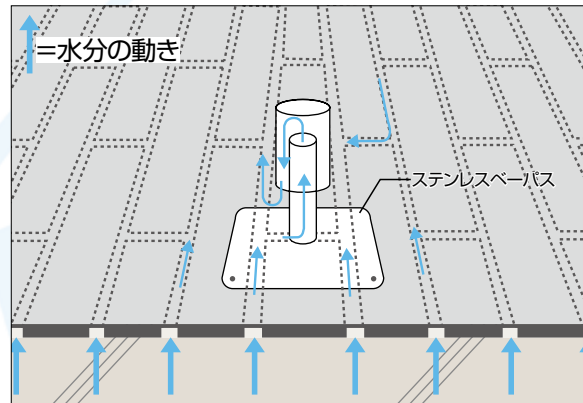
### ■ 試験結果

密着工法に比べ、複合工法では粘着層が下地の動きに追従することで、防水層の破断を防ぐ結果となっています。



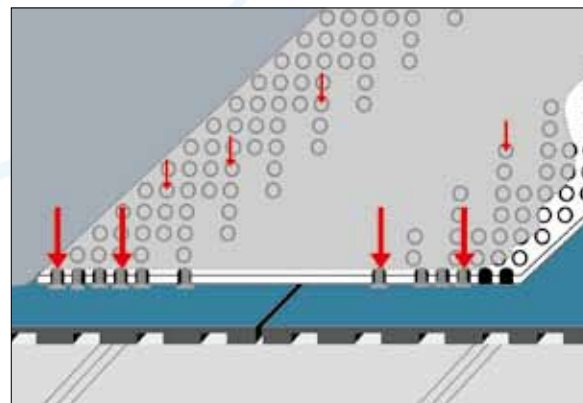
## 下地の水分を上手く脱気させること

気温の上昇に伴って下地の水分が気化すると、防水層に膨れを生じさせることがあります。オルタックシートGSのストライプ状ゴムアス粘着層は、縦方向・横方向とも不連続であるため、下地に残存する水分を拡散し、局部的な膨れを防ぐ効果があります。さらに、水分は脱気装置（ステンレスペーパス）を通して外気に排出します。



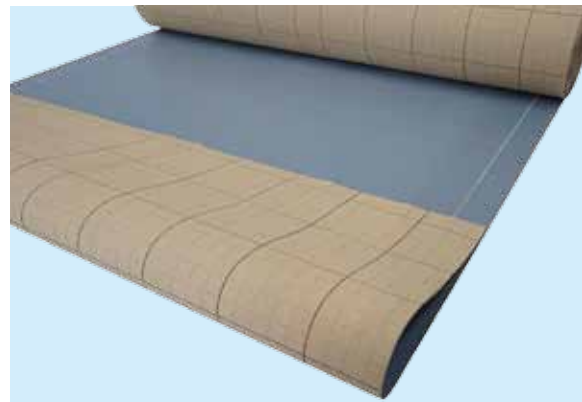
## 複合シート同士の継ぎ目も確実に強度を保つこと

オルタックシートGSのジョイントテープ「オルタックテープW」は、強靱なプラスチックフィルムをベースとしているため、シートの接合強度に優れています。また、テープの両サイドに穴を開けることでテープ端部の破断抵抗が少なくなり、オルタックシート同士間の強度を維持する効果を発揮します。



## 施工性の向上

オルタックシートGSは、長さ 20 m の長尺品です。エンドラップの数を削減できる一方で、約 14kg/巻と軽量に抑えられています。シート裏面剥離紙には静電気防止機能を持った「帯電低減剥離紙」を採用。剥離紙には裁断の目安となるマス目が入っており、カッター、ハサミで容易に裁断できるなど、作業性に配慮した様々な工夫がなされています。



# バリボード複合絶縁工法

バリボード工法とは、厚み4mmの『バリボードPS』を用いて下地を作り、その上にオルタックシートを貼り付けてウレタン防水材を施工する複合絶縁工法です。

『荒れた下地や水分を多く含んだ下地』でも、『大幅な下地調整を必要としない』でオルタック防水が施工できます。下地調整を樹脂モルタルなどの湿式で行った場合は、既存目地材の撤去・新規充填・樹脂モルタル塗布作業・乾燥硬化待ちなど工程が多くなりますが、バリボード工法では既存目地撤去・欠損部補修などだけでバリボードを下地に貼り付けることにより下地が完成します。

## 対象下地

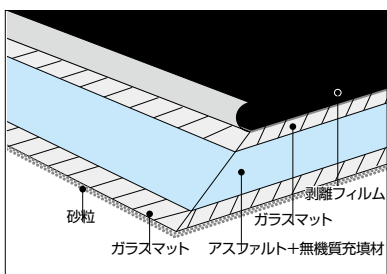
下地に多くの水分が含まれている場合

下地の挙動が大きい建物に

天候が不安定な時期の施工に

下地がタイルやブロック敷きの屋根に

## バリボードPSの特長(乾式パネル)



バリボードPS・構成図

良質のアスファルトに無機質充填材を配合したマスチックを板状に成型したもので、特に水分の多い下地への防水施工用に開発されました。

マスチックの両面には同質のアスファルトを含浸塗覆したガラスマットを貼り付け、表面には剥離用フィルム、裏面には砂粒を圧着してあります。表面のフィルムは剥してオルタックシートと接着させます。施工が容易で下地に良くなじみ、裏面の砂粒層が下地から発生する湿気の拡散移行効果を発揮します。耐候性・耐腐朽性・防水性・寸法安定性に優れ、また耐衝撃性・耐圧縮性などの機械特性も優れています。

## 大幅に工期が短縮されます

バリボードPSとオルタックシートの組合せにより工事期間中の降雨対応も万全です。

### 湿式工法（樹脂モルタル）の場合

下地処理

高圧水洗浄 → 目地撤去 → 目地充填 → 樹脂モルタル塗り → 乾燥 → プライマー塗布 → 乾燥

工程多く時間がかかる

### 乾式工法（バリボード工法）の場合

下地処理

高圧水洗浄 → 目地撤去 → 欠損部補修 → バリボード貼り → バリテープC

工程少なく速い

※ 下地の劣化状況により下地処理（リグレー等）が必要な場合もあります。上図は各工法の工程比較イメージですので、実際の作業内容の一部が省略されています。



バリボードPS貼り



バリテープC貼り



オルタックシート貼り

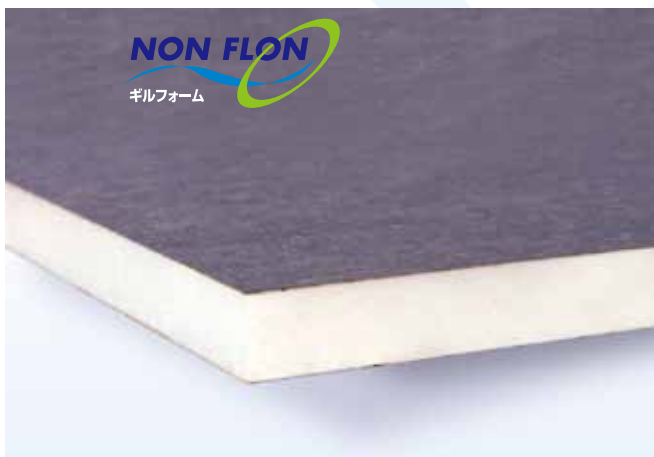


# 断熱複合工法

断熱性能に大変優れた硬質ウレタン系フォーム『ギルフォーム』を使用する『ウレタン塗膜断熱防水工法』です。『オルタックシートGS』を用いることにより、断熱材の上の過酷な条件においても長期に安定した性能を持つ、本格的な断熱防水工法です。

高反射性に優れた保護塗料『OTコートシリコンクール』と組み合わせることにより、夏場など高温になりやすい防水層の表面温度を下げて長期に渡り安定した防水性能・断熱性能を維持します。

## ギルフォームの特長

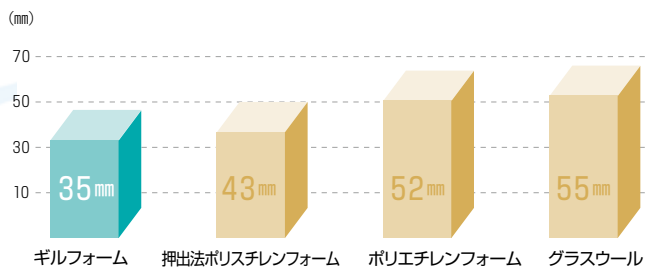


断熱材の断熱性能は、熱伝導率で判断することができます。ギルフォームは、建築物に用いられている各種断熱材の中でも特に低い熱伝導率（0.023W/m・K）を誇ります。これはギルフォームを構成する気泡の中に、熱伝導率が極めて低く、フロン系発泡ガスを含まないクリーンガス（炭化水素系発泡ガス）が内包されているためです。ギルフォームは住環境を快適に保ち、地球温暖化を抑制し、オゾン層を保護する省エネルギー、環境対応製品です。

## ■ ギルフォームと他の断熱材の種類と特性

材料名	特性	熱伝導率 W/m・K	密度 kg/m <sup>3</sup>
ギルフォーム（硬質ウレタンフォーム）		0.023	35以上
押出法ポリスチレンフォーム		0.028	25以上
ポリエチレンフォーム		0.034	10以上
グラスウール		0.036	約32
ロックウール		0.038	30~50

【ギルフォーム35mmと同じ性能を得るために必要な他の断熱材の厚さ】



## 住宅の省エネルギー基準について

住宅の省エネルギー基準とは、国土交通省が定めた住宅性能の目安です。

昭和55年に告示された後、平成4年に「新省エネルギー基準」、平成11年に「次世代省エネルギー基準」、平成25年に「改正省エネルギー基準」、平成28年に「建築物省エネ基準」として改正されました。

次世代省エネルギー基準以降の省エネ基準に則って建てられた住宅は、従来の省エネルギー基準に比較して省エネ性能が大幅に優れており、CO<sub>2</sub>排出量の低減や、快適な住環境を得られます。

## ■ 住宅の省エネルギー基準に基づく断熱材の厚さ

都道府県※1	地域区分	建築物省エネ基準 国土交通省告示266号 2016年(平成28年)			次世代省エネ基準 建設省告示998号 1999年(平成11年)			
		断熱材の抵抗値 【屋根】 m <sup>2</sup> K/W	断熱材の厚さ		断熱材の抵抗値 【屋根】 m <sup>2</sup> K/W	断熱材の厚さ		
			断熱材種類E ※2	ギルフォーム ※3		断熱材種類E ※2	ギルフォーム ※3	
北海道	1 2	3.0	85	70	I	3.0	85	70
青森県・岩手県・秋田県	3	2.2	65	60	II	2.2	65	60
宮城県・山形県・福島県 新潟県・長野県・栃木県	4	2.0	60	50	III	2.0	60	50
茨城県・群馬県・山梨県 富山県・石川県・福井県 岐阜県・滋賀県・埼玉県 千葉県・東京都・神奈川県 静岡県・愛知県・三重県 京都府・大阪府・兵庫県 奈良県・和歌山県・鳥取県 島根県・岡山県・広島県 山口県・徳島県・香川県 愛媛県・高知県・福岡県 佐賀県・長崎県・熊本県 大分県	5 6	2.0	60	50	IV	2.0	60	50
宮崎県・鹿児島県	7	2.0	60	50	V	2.0	60	50
沖縄県	8	1.4	40	35	VI	2.0	60	50

※1. 市町村によっては他の地域に区分されることがあります。  
 ※2. (財)住宅建築省エネルギー機構「住宅の次世代省エネルギー基準と指針」で区別されている断熱材の種類(硬質ウレタンフォーム)での厚み。  
 ※3. ギルフォームの熱抵抗値から計算した厚み。  
 (注意事項)・省エネ基準の適合判断以外に適用することはできません。

# オルタックSL工法の耐風圧性

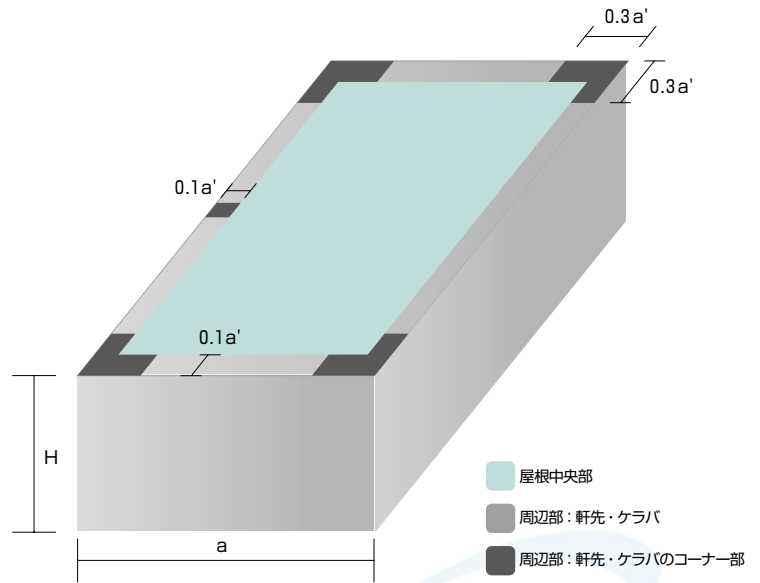
## 標準アンカー固定数と割り付け

オルタックSL工法は機械的固定工法ですので、防水層が風で飛ばされないようにするために適切な割付でアンカーを固定しなければなりません。

### ■ 屋根面にかかる風圧力

屋上で風が吹いたときに、防水層を上引っ張る力が働きます。さらにその力は屋根面の部位によって強さが異なり、中央部<周辺部<コーナー部の順に風圧力は強くなります。

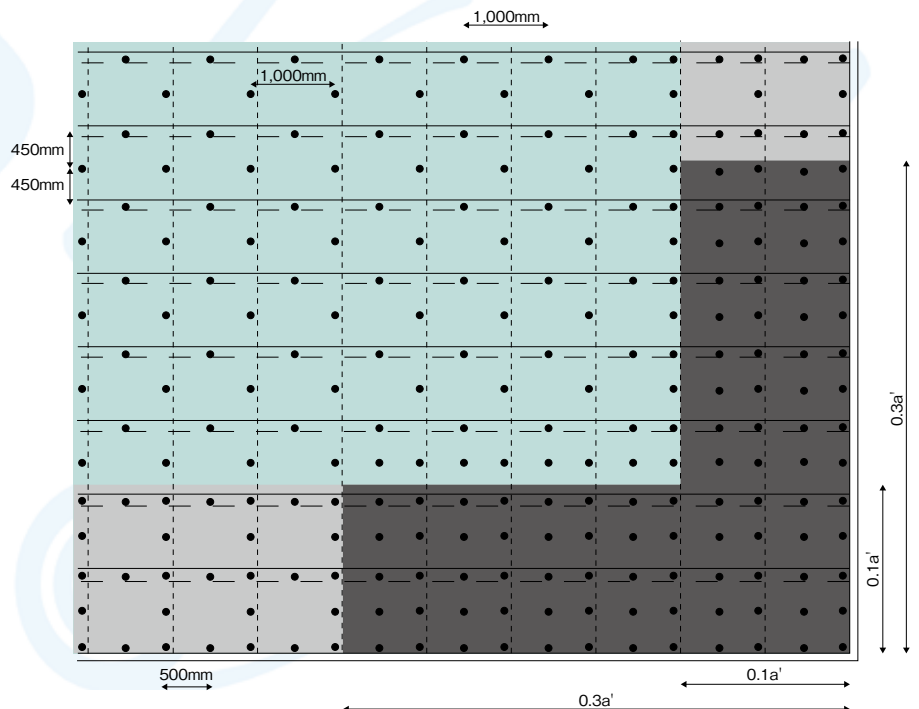
したがって、部位によって必要な数のアンカー数が異なります。



H: 建築物の高さと軒の高さとの平均 (m)  
 a': 平面の短辺長さ (a) とHの2倍の数値のうち、いずれか小さい数値 (m)  
 (ただし、30mを越える時には、30mとする。)

### ■ 固定割付例 例：短辺方向長さ (a) = 20mの場合

コーナー部分拡大図 コーナー部、周辺部の固定パターンは、0.1a'および0.3a'の範囲の1列外側まで適用します。



基準風速の強い地域や海岸沿い、高層の建物など、強風にさらされる建物では風圧力が増加するため、十分な安全率が確保できない場合があります。この場合は1㎡あたりのディスク固定数を増やす必要がありますのでご相談ください。

## オルタックSL工法の耐風圧性

オルタックSL工法は、耐風圧計算に基づき適切な固定数量を設定しています。

### ■ 耐風圧性の計算

建築基準法・建築基準法施行令（第82条の4）・告示（平12建告第1454号、1458号）「屋根ふき材および屋外に面する帳壁の風圧に対する構造耐力上の安全性を確かめるための構造計算の基準を定める件」に基づき、下記設定条件において耐風圧性能の計算をします。

#### 1. 設定条件

耐風圧性を計算する際に標準的なモデルを設定します。

建物の高さ(H)	:30m
建物の短辺方向の長さ(a)	:50m
勾配	:1/100
地表面粗度区分	:Ⅲ(標準的な地域が該当)
その他	:都市計画地域内(一般的な市街地が該当)

#### 2. 風圧力の計算方法

屋根にかかる風圧力は以下の計算式により求められます。

$$W = q \times C_f$$

W: 風圧力(N/m<sup>2</sup>) q: 平均速度圧(N/m<sup>2</sup>)

C<sub>f</sub>: ピーク風圧係数

平均速度圧は次式で求められます。

$$q = 0.6 \times E_r \times V_o^2$$

E<sub>r</sub>: 平均速度の高さ方向の分布を表す係数

V<sub>o</sub>: 基準風速

基準風速は、全国の市町村単位で細かく分類し、その土地で吹く風の基準として、30～46mの8段階に分類されています。

ここでは、基準風速38mを用いて風圧力を計算します。

#### 3. 風圧力の計算結果

風速	38m/s
屋根中央部	-2123N/m <sup>2</sup>
周辺部	-2717N/m <sup>2</sup>
コーナー部	-3651N/m <sup>2</sup>

### ■ オルタックSL工法の固定力

#### 1. アンカーの引き抜き強度

試験方法: コンクリートブロック(圧縮強度24N/mm<sup>2</sup>)に各種アンカーを固定し、建研式引張試験器で引き抜き強度を測定しました。

	UPアンカー
埋め込み深さ(mm)	30
強度 N/本	5560

#### 2. ディスク固定部のシートの引き抜き破断強度

試験方法: オルタックシートLGにディスクとアンカーを固定し、万能引張試験機でシートの引き抜き破断強度を測定しました。

試験条件: テストスピード100mm/min

測定温度20℃

引き抜き破断強度 N/1箇所	2600
現象	シート破断

1,2の結果よりオルタックSL工法の  
固定力=2600N/箇所 とします。

### オルタックSL工法の安全率

	風圧力の計算結果N/m <sup>2</sup> (A)	SL工法の固定力		風速38m/sの場合の安全率 (B÷A×100)
		ディスク個数/m <sup>2</sup>	固定力N/m <sup>2</sup> (B)	
屋根中央部	-2123	2.2	5720	269%
周辺部	-2717	3.3	8580	316%
コーナー部	-3651	4.4	11440	313%

以上の結果により、安全率が200%以上確保されているので、オルタックSL工法は十分な耐風圧性能を有しているといえます。

## 高反射保護塗料

太陽光は物体に当たることで熱エネルギーに変換されます（ふく射熱の発生）。屋上防水層の表面を高反射性の保護塗料でコーティングすることで太陽光を反射させ、ふく射熱の発生を抑えることができます。

オルタックスカイでは、2種類の高反射タイプ保護塗料をご用意しています。有機溶剤中毒予防規則に該当する有機溶剤(1種～3種)を一切使用しない、最先端の環境対応型保護塗料です。

### OTコートシリコンクール

高反射機能に加え、高耐久性を誇るアクリルシリコン系保護塗料です。長期間に渡り反射機能を維持し続けます。



SCライトグレー



SCライトブラウン

### OTコートクール

高反射機能に優れたアクリルウレタン系保護塗料です。



クールライトグレー



クールライトブラウン

#### ■保護塗料の日射反射率 ※1

品名	色名称	日射反射率 (%)	
		近赤外領域 ※2 (780 ~ 2500nm)	全波長領域 (300 ~ 2500nm)
OTコートシリコンクール	SCライトグレー	73.3	55.4
	SCライトブラウン	75.0	57.4
OTコートクール	クールライトグレー	63.0	51.0
	クールライトブラウン	64.9	52.6

※1：(財)日本塗料検査協会試験による、塗料単体の反射率です。

※2：近赤外領域は全波長領域の中でも特に熱に変換されやすく、この領域を多く反射する方が遮熱効果に優れていることとなります。

## 高耐久保護塗料

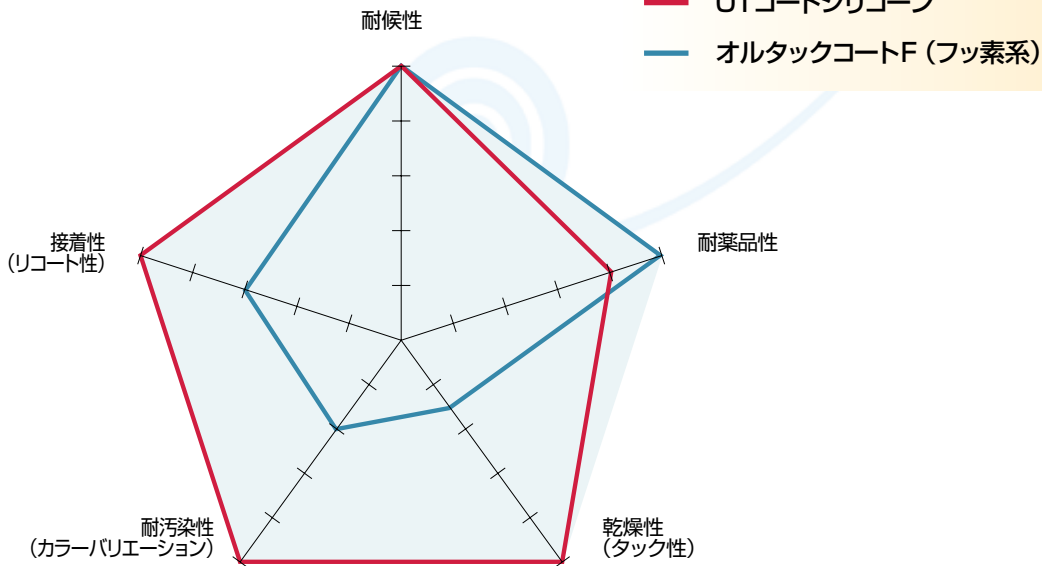
ウレタン防水材の耐久性は保護塗料に左右されると言っても過言ではありません。オルタックスカイでは、雨や紫外線などの過酷な自然環境下でも、長期間に渡り防水保護機能を維持し続ける高耐久保護塗料がお選びいただけます。一般的な保護塗料と比較して塗り替え期間が大幅に延長されます。

### OTコートシリコン

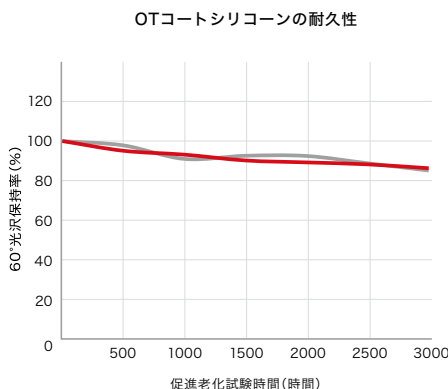
有機溶剤中毒予防規則に該当する有機溶剤（1種～3種）を一切使用しない最先端の環境対応型。  
特に耐久性に優れた保護塗料です。  
(塗り替え期間の目安：約10年)



【性能比較イメージ図】



### OTコートシリコンの耐久性



光沢保持率：初期光沢を100とし、一定時間暴露した時の光沢を保持率で表したもの。  
旧 JIS K 5400 9.8.1 に準じて試験を実施。

※各保護塗料の色は印刷のため、実際の色と幾分の違いがありますので、ご決定の際はサンプル帳をご参照ください。

# 各種材料の組合せ

## 下地／プライマー

上塗り 下塗り	OTプライマー-A	OTプライマー 水系18	速硬化 OTプライマー-M ブルー	OTプライマー-QQ	OTプライマー-KT	水性プライマー AS	オルタック プライマー-K	VTプライマー ※
コンクリートモルタル	○	○	×	○	×	○	×	×
ウレタン防水	×	×	○	×	×	×	○	×
塩ビシート防水	×	×	×	×	×	×	○	○
ステンレス板	×	×	×	×	○	×	○	×
アルミ板	×	×	×	×	○	×	○	×
鉛板	×	×	×	×	○	×	○	×
ガルバリウム	×	×	×	×	○	×	○	×
磁気タイル	×	×	×	×	○	×	○	×
エポキシ床	×	×	×	×	○	×	○	×

下地の乾燥を確認し、塵埃・油分等は除去してください。下地の材質によっては、サンディングや接着試験が必要な場合もあります。

※ 下地が塩ビシート防水「ビュートップ」の場合は、VTプライマー (0.1kg/㎡) +速硬化OTプライマー-Mブルー (0.1kg/㎡) の2層塗りとします。

下地塩ビシートが「ビュートップ」以外の場合は、接着試験を行ってください。

## プライマー／防水材

上塗り 下塗り	オルタック スカイ	オルタック スカイUC	オルタック スカイVR	立上り用 オルタック スカイ	巾木側溝用 オルタック スカイ	オルタック シート GS・WS・M
OTプライマー-A	○	○	○	○	○	○
OTプライマー-水系18	○	○	○	○	○	×
速硬化OTプライマー-Mブルー	○	○	○	○	○	○
OTプライマー-QQ	○	○	○	○	○	○
OTプライマー-KT	○	○	○	○	○	○
水性プライマー-AS	×	×	×	×	×	○

防水材の塗り重ねは「プライマーの上塗り材施工可能時間」以内に完了してください。時間を過ぎた場合は、そのままプライマーを塗り重ねせず、必ずサンディング・清掃してから速硬化OTプライマー-Mブルー (0.1kg/㎡) を塗布してください。(水性プライマー-ASを除く)

## 防水材／保護塗料

上塗り 下塗り	OTコートA ／速硬化OT コートA	OTコート シリコンクール	OTコートシリ コン／速硬化OT コートシリコン	OTコート クール	OTコート水系	SPミネラコート	SPサーモコート	オルタックコートF ／オルタック コートFK
オルタックスカイ	○	○	○	○	○	M	M	○
オルタックスカイUC	○	○	○	○	○	M	M	○
オルタックスカイVR	○	○	○	○	○	M	M	○
立上り用オルタックスカイ	○	○	○	○	○	M	M	○
巾木側溝用オルタックスカイ	○	○	○	○	○	M	M	○

保護塗料の塗り重ねは「防水材の上塗り材施工可能時間」以内に完了してください。時間を過ぎた場合は、塵埃等を除去して速硬化OTプライマー-Mブルー (0.1kg/㎡) を塗布してください。

# 防水材の塗り重ね

## 防水材の塗り重ね

上塗り 下塗り	オルタック スカイ	オルタック スカイUC	オルタック スカイVR	立上用 オルタック スカイ	巾木側溝用 オルタック スカイ
オルタックスカイ	○	○	○	○	○
オルタックスカイUC	○	○	○	○	○
オルタックスカイVR	○	○	○	○	○
立上用オルタックスカイ	○	○	○	○	○
巾木側溝用オルタックスカイ	○	○	○	○	○

防水材の塗り重ねは「防水材の上塗り材施工可能時間」以内に完了してください。時間を過ぎた場合は、塵埃等を除去して速硬化OTプライマーMブルー(0.1kg/㎡)を塗布してください。

### ■ 共通事項

○：左列の下地・材料に、そのまま上行の材料を塗り重ねできます。

×：重ね塗りできません。

M：そのままでは塗り重ねできませんが、仲介プライマー「速硬化OTプライマーMブルー」(0.1kg /㎡)を塗布することで塗り重ねできます。

※ 材料の乾燥・硬化時間は、「乾燥・硬化時間(P39)」を参照してください。

# 材料の乾燥・硬化時間

## プライマー

品名	項目	初期硬化時間		上塗り材施工可能時間		
		23℃	5℃	23℃	夏季	冬季
OTプライマー-A		—	6～8時間	3～4時間	3日以内	5日以内
OTプライマー-QQ		—	3～4時間	1時間	1日以内	3日以内
速硬化OTプライマー-Mブルー		—	3～4時間	1時間	1日以内	3日以内
OTプライマー-水系 18		1時間	10～12時間	4～6時間	3日以内	5日以内
OTプライマー-KT		—	12～14時間	5～7時間	2日以内	4日以内
オルタックプライマー-U		—	10～12時間	4～6時間	3日以内	5日以内
オルタックプライマー-S		—	5～7時間	2～3時間	1日以内	3日以内
オルタックプライマー-K		—	16～20時間	8～10時間	3日以内	5日以内

可 使 時 間：材料を混合してからの使用可能な時間です。

初 期 硬 化 時 間：タックフリーとなり次工程作業を開始できる時間です。

上塗り施工可能時間：時間内にウレタン防水材の施工を完了してください。

時間を過ぎてしまった場合は、サンディング・清掃してから速硬化OTプライマー-Mブルー (0.1kg/㎡) を塗布してください。

注 意：一度開栓したプライマーはできるだけ当日中に使い切ってください。

## ウレタン防水材

品名	項目	初期硬化時間		上塗り材施工可能時間	
		23℃	23℃	夏季	冬季
オルタックスカイ		60分	16時間	3日以内	5日以内
オルタックスカイUC		60分	16時間	3日以内	5日以内
オルタックスカイVR		55分	16時間	3日以内	5日以内
立上り用オルタックスカイ		70分	16時間	3日以内	5日以内
巾木・側溝用オルタックスカイ		55分	16時間	3日以内	5日以内

可 使 時 間：材料を混合してからの使用可能な時間です。

初 期 硬 化 時 間：タックフリーとなり次工程作業を開始できる時間です。

上塗り施工可能時間：時間内に防水材塗り重ねあるいは保護塗料の施工を完了してください。

時間を過ぎてしまった場合は、速硬化OTプライマー-Mブルー (0.1kg/㎡) を塗布してください。

## 保護塗料

品名	項目	初期硬化時間			開放時間	
		23℃	5℃	23℃	夏季	冬季
OTコートA		4時間	5時間	3時間	5時間	12時間
速硬化OTコートA		2時間	3時間	1.5時間	2時間	5時間
OTコートシリコン		4時間	5時間	3時間	5時間	12時間
速硬化OTコートシリコン		2時間	3時間	1.5時間	2時間	5時間
OTコートシリコンソール		4時間	5時間	3時間	5時間	12時間
OTコートクール		4時間	5時間	3時間	5時間	12時間
OTコート水系		1時間	8時間	4時間	5時間	12時間
オルタックコートF		4時間	16時間	8時間	12時間	24時間

可 使 時 間：材料を混合してからの使用可能な時間です。

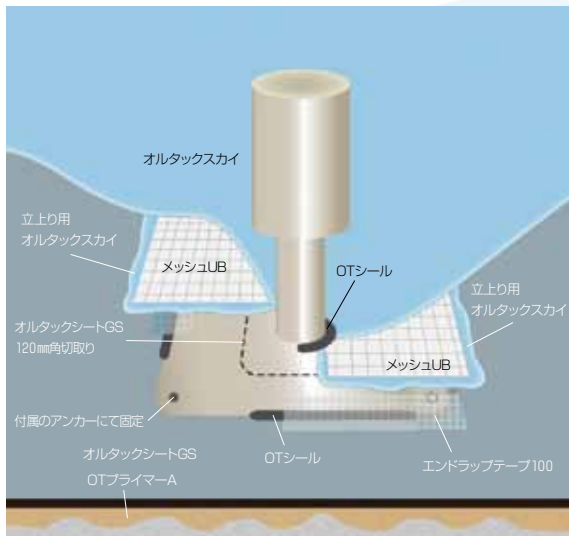
初 期 硬 化 時 間：上に乗って養生テープの撤去作業等はできますが、十分な強度が発現していないので靴底でひねったりしないよう歩行には注意してください。

開 放 時 間：一般開放できる時間です。

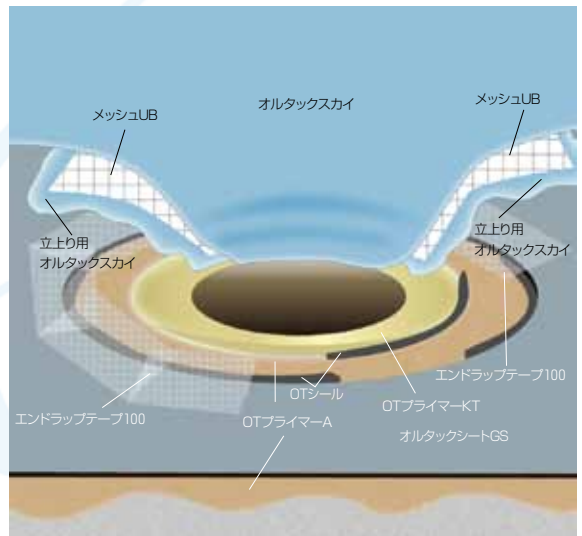


# 通気材・ドレン等の納め方

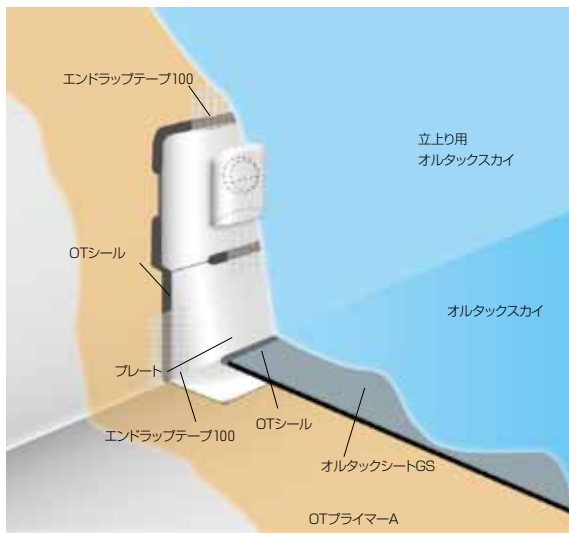
## ■ ステンレスベーパー



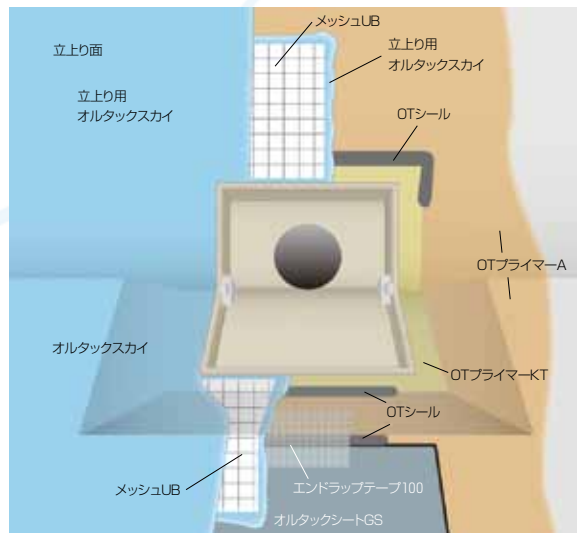
## ■ 既設 縦型ドレン



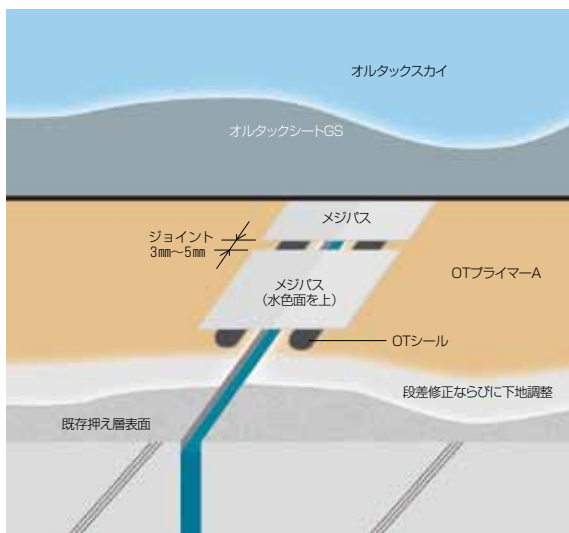
## ■ 立上りステンレスベーパー



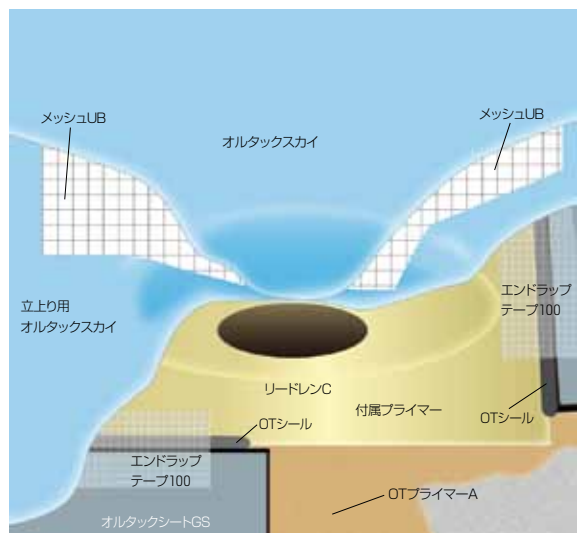
## ■ 既設 横引きドレン



## ■ メジパス シール工法



## ■ 改修用リードレンC



材料・工法

# ヘリサイン



## フレクターフィルム

「フレクターフィルム」は、防水層用災害対策ヘリサインフィルムです。フィルム裏側に設置された粘着層は、フレクターフィルム専用下塗材「フレクターベースL」を塗布することで、防水層に悪影響を与えず、長期にわたり強固に密着し、色素層は過酷な水平面でも色褪せしにくく、高い耐久性、耐退色性を有します。さらに、再帰性反射機能を付加したことで、夜間時にヘリコプターからのランディングライトやサーチライトに高輝度で反射し、夜間の市街地情報を正確に伝えます。これらのフィルムは、工場でデザインのアウトラインでカットし、屋上で貼り付けるため、デザインを忠実に再現でき、塗装と比べて施工時間も大きく短縮します。



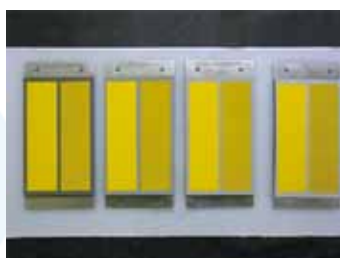
材料・工法

## フレクターフィルム

オルタックスカイ防水仕様					フレクターフィルム仕上げ仕様				
仕様番号	1	2	3	4	5	仕様番号	6	7	8
OSTW-3S	OTプライマーA	オルタックシートGS	オルタックスカイ 2.0kg/㎡	オルタックスカイ 1.5kg/㎡	OTコートシリコン 0.2kg/㎡	FF-OS	フレクターベースLシリコン 0.1kg/㎡	フレクターフィルム	フレクターコートクリア 0.1kg/㎡

## 高耐久性・高防汚性

防水層上の水平面に設置される屋上サインは、過酷な条件にさらされます。防水層とフレクターフィルムを接着させる「フレクターベースL」の開発と、屋外暴露試験や劣化促進試験を積み重ねることにより、防水層との接着力を長期にわたり維持し、高い反射率を誇る防水層上のサインシステムを確立しました。



劣化促進試験経過状況



屋外暴露試験状況

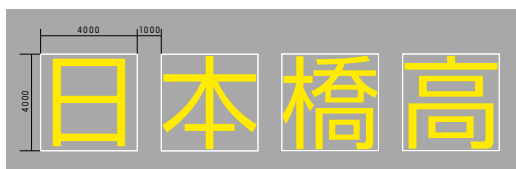
## 再帰性反射機能

災害、救急は昼夜問わず発生します。フレクターフィルムは航空機からのランディングライトや、サーチライトからの視認性を高めるために高い反射機能（再帰性反射機能）を付加しています。救援隊が夜間に該当地域上空に入ったとき、地区識別や場所特定に大きく貢献し、被害状況の把握、救助、救援活動の迅速化の一役を担います。



## デザイン再現性

フレクターフィルムはデザインのアウトラインをコンピュータ制御で工場にてカットしますので正しいフォントデザインを忠実に防水層上に再現できます。また、企業のロゴや、シンボルマーク、商品ロゴなどさまざまなデザイン、大きさにも正確に対応します。



日本橋高校 ヘリサインデザイン  
フレクターフィルムイエロー【高輝度再帰性反射フィルム】

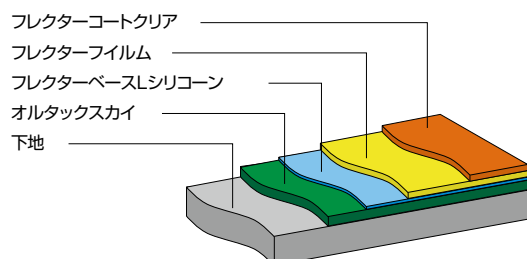
4000mm×4000mm/文字  
文字ピッチ：1000mm  
文字太さ：300mm  
反射フィルム フレクターフィルム仕様  
色 イエロー

## コストバリュー

あらかじめ工場でデザインのアウトラインに合わせて正確にカットされ、施工現場に運ばれます。現場でのカット作業を極力なくすることで、何層も塗り重ねる塗装と比べて圧倒的な作業時間の短縮が可能です。均一な厚みで成型されたフレクターフィルムは現場で塗布する塗装と比べて施工精度が安定しています。



## 製品仕様

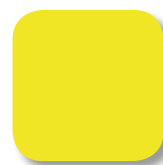


### ■ フレクターフィルム色

ホワイト



イエロー



オレンジ



材料名	用途	規格
フレクターフィルム	防水用高輝度再帰性反射フィルム	色：ホワイト・イエロー・オレンジ
フレクターベースL シリコン	オルタック下地専用下塗材	7.0kg/セット
フレクターコート クリア	フレクターフィルム専用トップコート	7.0kg/セット

### 注意事項

- 仕様や表面仕上げによってはフレクターフィルムが施工できない場合があります。
- 対応防水層以外の防水層に施工した場合、剥がれや膨れ等が発生する場合があります。

※ フレクターフィルムの詳細に関しては別冊フレクターフィルムカタログをご参照ください。

## 仕上げ材

・当カタログに記載されている各材料の質量・寸法等は代表値であり、実際の製品とは異なる場合があります。  
 ※ 見本の色は印刷のため、実際の色と幾分の違いがありますので、ご決定の際はサンプル帳をご参照ください。

### OTコートA (8色 色番D)

アクリルウレタン系の半つやタイプの保護塗料です。  
 オルタックスカイ類の上に塗布することにより、  
 防水層の耐久性や美観が向上します。  
 (半つやタイプ) 標準塗布量0.2kg/㎡  
 ※700g/セットのタッチアップ缶も  
 ご用意しています。(受注生産品)



14kg/セット  
 (主剤:6kg/硬化剤:8kg)

### 速硬化OTコートA (8色 色番DS)

速乾性のアクリルウレタン系保護塗料です。  
 (半つやタイプ) 標準塗布量0.2kg/㎡



14kg/セット  
 (主剤:6kg/硬化剤:8kg)

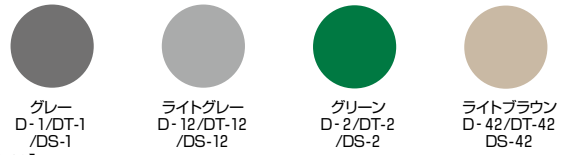
### OTコートAつやあり (4色 色番DT)

アクリルウレタン系のつやありタイプの保護塗料です。  
 オルタックスカイ類の上に塗布することにより、  
 防水層の耐久性や美観が向上します。  
 (つやありタイプ) 標準塗布量0.2kg/㎡  
 ※700g/セットのタッチアップ缶も  
 ご用意しています。(受注生産品)

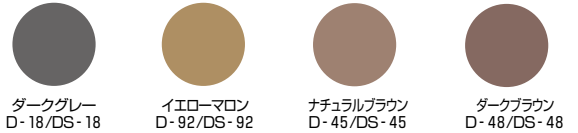


14kg/セット  
 (主剤:6kg/硬化剤:8kg)

【標準在庫品】 OTコートA/OTコートAつやあり/速硬化OTコートA



【受注生産品】



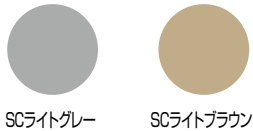
受注後納期1週間以内です。価格が割増となります。

### OTコートシリコンクール (2色)

耐久性に優れ、日射反射率50%を超える  
 高耐久・高反射性保護塗料です。  
 (つや有タイプ) 標準塗布量0.2kg/㎡



14kg/セット  
 (主剤:6kg/硬化剤:8kg)

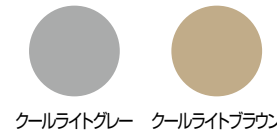


### OTコートクール (2色)

日射反射率50%を超える高反射性保  
 護塗料です。  
 (半つやタイプ) 標準塗布量0.2kg/㎡



14kg/セット  
 (主剤:6kg/硬化剤:8kg)



### OTコートシリコン (3色 色番E)

耐久性に優れたシリコン系保護塗料です。  
 塗り替え期間を大幅に延長できます。  
 (つや有タイプ) 標準塗布量:0.2kg/㎡  
 ※色については、速効果OTコートシリ  
 コーンを参照

※700g/セットのタッチアップ缶も  
 ご用意しています。(受注生産品)



14kg/セット  
 (主剤:6kg/硬化剤:8kg)

### 速硬化OTコートシリコン (3色 色番ES)

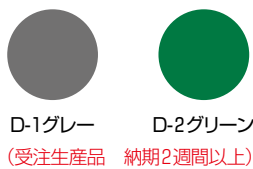
速乾性の高耐久シリコン系保護塗料です。



14kg/セット  
 (主剤:6kg/硬化剤:8kg)

### OTコート水系 (2色)

ウレタン防水用の水系保護塗料です。  
 (つや有タイプ) 標準塗布量:0.2kg/㎡



11kg/セット  
 (主剤:1kg/缶/箱・硬化剤:10kg/缶  
 減粘剤:500cc/ボトル)

### オルタックコートFK (2色 色番FK)

弱溶剤型のフッ素樹脂系ウレタン防水用  
 保護塗料です。



8kg/セット  
 (主剤:2kg/硬化剤:6kg)  
 (受注生産品 納期2週間以上)

・OTコートシリコンクール・OTコートクール・OTコート水系・SPサーモコート・SPスーパーサーモコートは受注色には対応しておりません。

## SPスーパーサーモコート

日射反射率(近赤外領域)で80.0%、SPシリーズ最高の性能を持つエマルジョン系高耐久高反射厚膜塗料です。防火性能に優れ、表面を美しく保つセルフクリーニング機能があります。

塗布量 0.6~1.0kg/㎡(2回塗り)  
SPスーパーサーモコート塗布前にはOTコートに代えて速硬化OTプライマー-Mブルーを0.1kg/㎡塗布します。



18kg/缶



サーモホワイト  
TH-1000

※ 照り返しや反射光害に注意し、低層部では使用しないなどの配慮が必要です。色がほぼ純白のため、汚れが目立つ場合があります。

## SPサーモコート(3色)

アクリル樹脂を主成分とする特殊エマルジョンと特殊骨材で構成された断熱工法用の保護塗料です。日射による防水層表面の温度上昇を抑えることが出来ます。

塗布量 0.6~1.0kg/㎡(2回塗り)  
SPサーモコート塗布前には、OTコートに代えて速硬化OTプライマー-Mブルーを0.1kg/㎡塗布します。



18kg/缶



サーモグリーン  
TH-29



サーモアイボリー  
TH-69



サーモグレー  
TH-109

## SPミネラコート(3色)

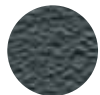
オルタック防水層の保護及び歩行用仕上げ塗料です。珪砂を混入済みのアクリル系水性エマルジョンタイプで耐候性・耐水性・耐アルカリ性に優れています。

防水層上にハードな被膜が構成されるため、防水層が熱・紫外線・歩行等から保護され、高い耐久性を得られます。

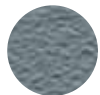
塗布量 1.5kg/㎡(2回塗り)  
SPミネラコート塗布前には、OTコートに代えて速硬化OTプライマー-Mブルーを0.1kg/㎡塗布します。



18kg/缶



グレー



シルバーグレー



グリーン

## Uチップ/Mチップ

Uチップ/ウレタンエストラマーを細かなチップ状に粉碎したものです。OTコートに混入することで、粗面の仕上げとなります。

保護塗料14kgセットに対し300g/箱を添加



Mチップ/アルミノシリケート系の無機質微小中空球体材です。OTコートに混入することで、より粗面の仕上げとなります。

保護塗料14kgセットに対し420g/箱を添加



## クレガーレリエナタイル(5色)

意匠性に優れた磁器タイルです。防水層を傷つけないようにタイルの裏足は丸みをもたせ、接地面を広くしています。施工は、連結部分を上下にはめ込み敷設するため改修性に優れ、部分的な交換も容易に行うことができます。

※積水化学工業(株)製品



IV  
(アイボリー)



LG  
(ライトグレー)



BG  
(ブルーグリーン)



LY  
(ライトイエロー)



LB  
(ライトブラウン)



裏面



300mm×300mm  
厚さ19mm 20kg/㎡ 10枚/箱

## ガムロンタイル(4色)

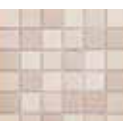
軽量・高耐久な粘着層付歩行用磁器タイル仕上げ材です。端部保護のためステップエッジ(50×1000mm)をご使用ください。



パールホワイト  
GT-101



オレンジブリック  
GT-102



サンディブラウン  
GT-103



ウォームグレー  
GT-104

・300×300mm 厚さ8mm 18枚/箱

・全色 受注生産品

## ステップスクエア500(4色)

天然石細粒を特殊バインダーで固着して成型したカラフルな歩行用防水仕上げ材です。透水性に優れ、適度の弾力性・滑り抵抗性があり、熱・紫外線・外力から防水層を保護し長持ちさせます。



NO.501



NO.518



NO.588



NO.520

500mm×500mm/7.5mm厚  
6枚/箱  
12kg/㎡

※天然石のため微妙な色差があり、単色で並べると色ムラが目立つ恐れがあります。2~3色を組合わせた市松貼りなどをおすすめします。美しい仕上りを維持するためにクリアタイプのステップトップを3年程度毎に塗布することをお勧めします。ステップ施工前には必ずOTコート類を塗布してください。また、端部保護のため、ステップエッジ(50×1,000mm)をご使用ください。

## 下地処理材／接着剤

### OTプライマー-A

コンクリート・モルタル下地用のウレタン系プライマーです。



16kg/缶

### 速硬化OTプライマー-Mブルー

塗布した部分が識別しやすいように青色に着色した速乾性の伸介プライマーです。



青色着色



8kg/缶

### OTプライマー-QQ

コンクリート・モルタル下地用の速乾性ウレタン系プライマーです。特に冬季の施工に適します。



16kg/缶

### OTプライマー-KT

金属・タイルなど特殊下地に対応するウレタン系プライマーです。



0.4kg/缶・7kg/缶

### VTプライマー

アクリルウレタン系2液硬化型プライマーです。塩ビシート防水で、架台部分などをオルタックスカイで施工する場合に、シートとの取り合い部に使用します。



6kg/セット(主剤:2kg 硬化剤:4kg)

### レイコーセメント

ゴムアスファルト系接着剤です。



18kg/缶

### OTプライマー-水系18

ウレタン防水用に開発された水系プライマーです。



18kg/セット(主剤:12kg/缶 硬化剤:6kg/缶)  
(受注品 納期2週間以上)

### 水性プライマー-AS

アスファルト系水性プライマーです。



17kg/缶

### マルチグランド

既存防水と新規防水の種類を問わずに使用できる仮防水材です。



マルチグランド  
10kg/箱

グランドパウダー  
12kg/袋

## リグレー・リグレーパウダー

下地補修用SBR系ポリマーセメントモルタルです。

用途	配合		施工面積
	リグレー※	パウダー※	
2mm厚以上の調整	1kg (+水3kg)	厚塗り用 約20kg	約2.4㎡ (5mm厚)
2mm厚未満の調整	2kg (+水6kg)	薄塗り用 約18kg	約14.5㎡ (1mm厚)

※リグレーは4倍液(リグレー:水=1:3)を作成しパウダーと混合します。



リグレー:18kg/缶、リグレーパウダー:  
厚塗り用20kg/袋・薄塗り用20kg/袋

## リグレーエポ

下地補修用エポキシ系樹脂モルタルです。

用途	配合				施工面積
	主材	硬化剤	パウダー	珪砂 (6-7号)	
2mm厚以上の調整	4kg	4kg	20kg	4kg	約3.2㎡ (5mm厚)
2mm厚未満の調整	4kg	4kg	20kg	—	約16㎡ (1mm厚)



28kgセット(主剤:4kg・硬化剤:4kg・パウダー:20kg)

# 防水・緩衝シート／断熱材

## オルタックシートGS

裏面にストライプ粘着層をコーティングし、ハイブリッド型3軸ガラスメッシュ・特殊塗料処理フィルムで構成した通気緩衝シートです。



1m×20m巻／厚1.0mm  
(ストライプ粘着層を含む)

## オルタックシートWS

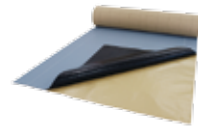
裏面にストライプ状のゴムアス粘着層をコーティングし、シート表面には特殊プラスチックフィルム層を設けた通気緩衝シートです。



1m×10m巻／厚1.3mm  
(ストライプ粘着層を含まない)

## オルタックシートGA

裏面全面にゴムアス粘着層をコーティングし、ハイブリッド型3軸ガラスメッシュ特殊フィルムで構成した緩衝シートです。



1m×20m巻／厚1.0mm

## オルタックシートM

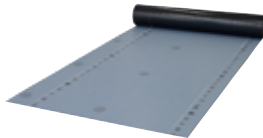
裏面全面にゴムアス粘着層をコーティングし、合成繊維不織布・ガラスメッシュ・プラスチックフィルムで構成した緩衝シートです。



1m×30m巻／厚0.8mm

## オルタックシートLG

ハイブリッド型3軸ガラスメッシュ・改質アスファルト・特殊プラスチックフィルムを組み込んだ機械固定専用の緩衝シートです。



1m×10m巻／厚1.3mm

## ダンパーシート

断熱材ギルフォームを下地と接着させるための防湿層を兼ねた両面粘着タイプの改質アスファルトシートです。



1m×32m巻／厚0.8mm  
(ストライプ粘着層を含む)

## バリボードPS

アスファルトに無機質充填材を配合したマッシュクを板状に成型したパネル材です。



1m×0.9m／厚4.0mm

## メッシュUB／メッシュUBのり付き／メッシュUBソフト

メッシュUBはガラス繊維を用いた強靱な補強布です。  
メッシュUBソフトは柔軟性のあるポリエステルを用いた補強布です。

メッシュUB:1,040mm×100m巻／5kg  
メッシュUBのり付き:1,040mm×100m巻／5.2kg  
メッシュUBソフト:1,020mm×50m巻／2.5kg



※ 写真はメッシュUB

## ギルフォームS

外断熱用の完全ノンフロン硬質ウレタンフォームです。厚さは、25、30、35、40、50、60mmがあります。



※ 写真は35mm品  
605mm×910mm

・シート類につきましては、納品時2ピース品(1ヵ所切断している製品)が含まれている場合がありますので、ご了承ください。  
・当カタログに記載されている各材料の質量・寸法等は代表値であり、実際の製品とは異なる場合があります。

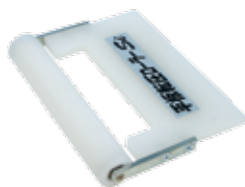
## 施工器具

### 平板転圧ローラー



ローラー部 幅 145mm 20mmφ

### 平板転圧ローラーSi



ローラー部:シリコンチューブ  
幅 145mm 27mmφ

### ステッチャー



長さ 210mm ローラー部 30mmφ 5本/箱

### ルーフィングカッターDXII



1本/箱

### オルタックレーキセット



シャフト・固定治具・レーキ刷毛1.5kg用/2.0kg用  
各1/箱

### オルタックレーキ用刷毛1.5kg用



1.5kg用 5枚入り/箱

### オルタックレーキ用刷毛2.0kg用



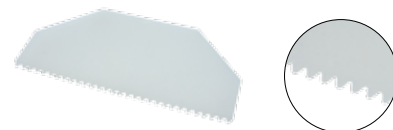
2.0kg用 5枚入り/箱

### レイコーディッシャー



2個/箱

### オルタッククシゴテ1.3/1.5/2.0



クシの目形状により、一定量を塗布できるプラスチック製のオルタック防水専用クシゴテ。  
1.3kg/㎡用、1.5kg/㎡用、2.0kg/㎡用  
クシ幅:300mm 2枚/袋



## 汎用溶剤タイプ (キシレン等の溶剤を使用した製品)

### オルタックコートF (2色)

フッ素系の高耐久性仕上げ塗料です。面倒な保護塗料の塗り替えサイクルを大幅に伸ばしました。  
(つや有タイプ) 標準塗布量 0.2kg/m<sup>2</sup>

汎用溶剤タイプです



F-1 グレー



F-2 グリーン  
(受注生産色)



8kg/セット  
(主剤:2kg/硬化剤:6kg)

### オルタックプライマーS

ウレタン系1液型の速乾性プライマーです。  
従来のウレタンプライマーに比べ、約1/2の時間で乾燥し、次工程への待ち時間の短縮が図れます。  
特に冬期の施工などに適しています。

汎用溶剤タイプです



16kg/缶

### オルタックプライマーU

ウレタン系1液型プライマーで一般的なコンクリートやモルタル下地との接着性を高めます。

汎用溶剤タイプです



16kg/缶

### アジャストU

オルタック防水専用の粘度調整・洗剤です。粘度調整する場合は、5%までにご覧ください。

汎用溶剤タイプです



15kg/缶

### オルタックプライマーK

ウレタン系1液型の金属下地用プライマーです。金属の中でも接着が難しいとされていた亜鉛鋼板やアルミにも優れた接着性能を有し、金属下地とウレタン防水材との接着性を向上させる働きをします。

汎用溶剤タイプです



0.4kg/缶

7kg/缶

汎用溶剤タイプの材料は、スカイ標準仕様の各材料と置き換えて使用することができます。その場合は、環境対応仕様にはなりません。  
汎用溶剤タイプの材料を使用する際には、特に換気や近隣への配慮を十分に行ってください。

・当カタログに記載されている各材料の質量・寸法等は代表値であり、実際の製品とは異なる場合があります。  
※ 見本の色は印刷のため、実際の色と幾分の違いがありますので、ご決定の際はサンプル帳をご参照ください。

## 副資材

### オルタックテープWフィルムタイプ

オルタックシートGSとWSIに使用する粘着層付ジョイントテープです。



97mm×50m巻/厚0.14mm

### オルタックテープマルチ

断熱複合工法やSL工法、立上り入隅部の絶縁・補強などに使用するアクリル粘着層付テープです。



197mm×50m巻

### オルタックLGパッチ

オルタックシートLGの一般部に固定されたディスクの上に貼るアクリル粘着層付補強絶縁材です。



Φ120mm/300枚/袋

### バリテープC

バリボードPS専用の粘着層付ジョイントテープです。



100mm×20 m巻・8巻/箱

### オルタックコーナーテープ

非加硫ゴムベースの合成高分子系コーナーテープです。



150mm×15m・2巻/包

### エンドラップテープ50/100/200

強靱なガラスメッシュの片側に粘着層をコーティングした補強テープです。



50mm×50m巻  
100mm×50m巻  
200mm×50m巻

### オルタックアゴテープ

パラベットアゴ下専用の粘着層付水切りテープです。



48mm×50m巻/厚0.14mm

### ディスク60

オルタックシートLGをエアロスミスにて固定する際に用いるディスクです。



100枚/箱

### エアピン30・エアピン35

エアロスミス専用のエアピンです。



※写真はエアピン35

エアピン30 (長さ30mm100本/箱)  
エアピン35 (長さ35mm100本/箱)

### ASディスク

オルタックシートLGをUPアンカーにて固定する際に用いるディスクです。



100枚/箱

### UPアンカー35/50/60/75

ASディスク専用のアンカーです。



品名	UPアンカー35	UPアンカー50	UPアンカー60	UPアンカー75
プラグ	6×35mm	6×50mm	6×60mm	6×75mm
ドリル径	6mm			
埋め込み深さ	30mm以上			
有効取付厚さ	0~5mm	5~20mm	20~30mm	20~42mm
荷姿	100本セット/箱			

### OTシール

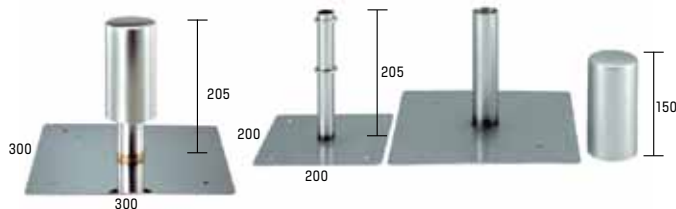
オルタックシート端部に施工する速乾性のウレタン系シーリング材です。



320ccカートリッジ×10本×2箱/梱包

### ステンレスペーパス/W 平面部用通気材

防水層のフクレを解消するための平面部用の通気部材です。断熱用のWタイプも用意しています。ステンレスペーパスは、70~80mm程度に1ヶ所設置します。また、押えコンクリート下地の改修の場合は既設伸縮目地の交点に設置します。その際交点部の充填材は通気性を考慮して撤去します。



ステンレスペーパス

ステンレスペーパスW

## トルネードドレン80・90

排水口に取付けた羽根により効率的に雨水を排水する構造の改修工事用2重ドレンです。新築時に設置される、直径100mmの縦引きドレンと同等の排水力を有します。  
(キャップ・専用ナット・シリコンゴム付き)



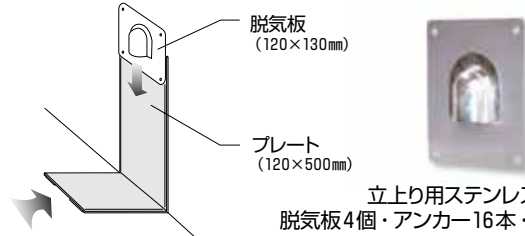
キャップをつけた状態

1個/箱

## 立上用ステンレスペーパス 立上部用通気材

立上部から通気する場合の通気システム材です。

●設置高さは、150～400mmまで対応可能です。立上部へは10m間隔で設置します。



脱気板  
(120×130mm)

プレート  
(120×500mm)

立上用ステンレスペーパス

脱気板4個・アンカー16本・プレート4枚・金属用プライマー/箱

## リードレンCたて・横 U

銅製の改修用かぶせ型ルーフトドレンです。  
(金属プライマー付き)



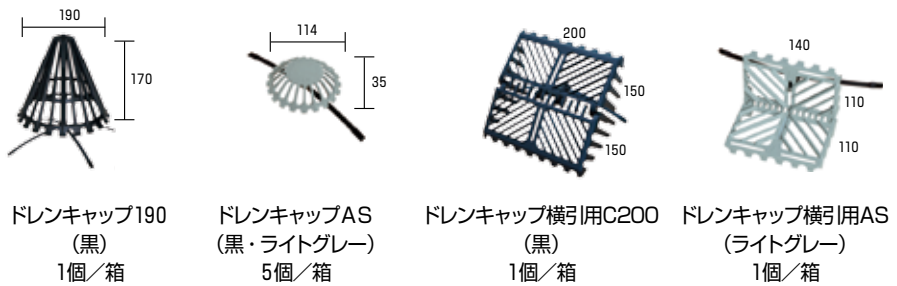
リードレンCたて

リードレンC横

たて9サイズ (標準品 5種)  
横 7サイズ (標準品 3種)

・寸法等詳細は別冊「リードレンC」カタログをご参照ください。

## ドレンキャップ (アルミ製)



ドレンキャップ190  
(黒)  
1個/箱

ドレンキャップAS  
(黒・ライトグレー)  
5個/箱

ドレンキャップ横引用C200  
(黒)  
1個/箱

ドレンキャップ横引用AS  
(ライトグレー)  
1個/箱

## オルタック硬化促進剤

オルタックスカイ防水用の硬化促進剤です。



オルタック硬化促進剤  
6kg/缶

※ 添加量は現場の気温等の条件により異なります。缶ラベルに記載されている「添加量表」をご覧ください。適正量を添加してご使用ください。過量に添加すると、作業性や仕上り、耐久性などに問題が生じる恐れがあります。適正添加量を厳守してください。

## メジパス

既存押え層目地を利用した「目地通気システム」用の、特殊表面加工されたアルミ板です。水色の面を上側にし、OTシールで固定します。



厚0.3mm 90mm×1m板×100枚/箱

## OT増粘剤

平場用防水材に添加し、バルコニー等(1/10 勾配まで)、パラペット天端(1/6 勾配まで)の施工に適した粘度に調整できる増粘剤です。



1.6kg/缶 (計量カップ付)

### バルコニー

配合比	添加量	添加量目安
1:1 品 (オルタックスカイ)	1.0 重量%	約350cc/32kgセット
1:2 品 (オルタックスカイUC)	0.2 重量%	約50cc/24kgセット

### パラペット天端

配合比	添加量	添加量目安
1:1 品 (オルタックスカイ)	0.4 重量%	約140cc/32kgセット
1:2 品 (オルタックスカイUC)	0.2 重量%	約50cc/24kgセット

※バルコニー等(1/10 勾配まで)への施工は、1回の塗布量を2.0kg/m<sup>2</sup>以下としてください。  
※パラペット天端(1/6 勾配まで)への施工は、1回の塗布量を1.0kg/m<sup>2</sup>以下としてください。

## オルタクトナーパック

オルタックスカイに添加し工程の区別を容易にする着色トナーです。添加量:硬化剤に対し0.5%程度



400gパック×5袋/箱 (計量カップ付)

## アジャストE

オルタック専用の粘度調整剤です。粘度調整する場合は、重量比5%までとってください。



13kg/缶

## OT洗浄剤

オルタック防水専用の弱溶剤系洗浄剤です。  
※減粘剤としての添加はできません。



15kg/缶

・当カタログに記載されている各材料の質量・寸法等は代表値であり、実際の製品とは異なる場合があります。

## 下地処理材／プライマー／接着剤

品名	規格	備考
リグレー	18kg/缶	ポリマーセメントモルタル用SBR系エマルジョン混和液
リグレーパウダー厚塗り用	20kg/袋	ポリマーセメントモルタル用粗粉体骨材
リグレーパウダー薄塗り用	20kg/袋	ポリマーセメントモルタル用細粉体骨材
リグレーエポ	28kg/セット (主剤:4kg・硬化剤:4kg・パウダー20kg)	水性エポキシ系下地調整材
OTプライマーA	16kg/缶	ウレタン系プライマー (コンクリート・モルタル下地用)
速硬化OTプライマーMブルー	8kg/缶	速乾性青色着色ウレタン系伸介プライマー (ウレタン下地用)
OTプライマーQQ	16kg/缶	ウレタン系プライマー (速乾性)
VTプライマー	6kg/セット (主剤:2kg・硬化剤:4kg)	アクリルウレタン系プライマー (塩ビシート取り合い部用)
OTプライマーKT	0.4kg/缶・7kg/缶	ウレタン系プライマー (金属下地・タイル下地用)
OTプライマー水系 18	18kg/セット (主剤:12kg・硬化剤:6kg)	エポキシ系水性プライマー (コンクリート・モルタル下地用) ※1
水性プライマーAS	17kg/缶	アスファルト系水性プライマー
レイコーセメント	18kg/缶	バリボードPS・ギルフォーム貼り付け専用接着剤
マルチグランド	混和液:10kg/箱・グランドパウダー12kg/袋	各種防水用仮防水材

## 防水・緩衝シート／断熱材

品名	規格	備考
オルタックシートGS	1m×20m巻	絶縁用粘着層付複合防水下貼りシート
オルタックシートWS	1m×10m巻	絶縁用粘着層付複合防水下貼りシート
オルタックシートGA	1m×20m巻	粘着層付複合防水下貼りシート
オルタックシートM	1m×30m巻	粘着層付複合防水下貼りシート
オルタックシートLG	1m×10m巻	機械的固定用下貼りシート
バリボードPS	1m×0.9m・厚4mm	絶縁用複合防水下貼りアスファルト成型板
ダンパーシート	1m×32m巻	粘着層付防湿用改質アスファルトシート
メッシュUB	1,040mm×100m巻	ガラスメッシュ
メッシュUBのり付き	1,040mm×100m巻	ガラスメッシュ (のり付きタイプ)
メッシュUBソフト	1,020mm×50m巻	ポリエステルメッシュ
ギルフォームS	605mm×910mm・厚25・30・35・40・50・60・70・75mm	硬質ウレタン系フォーム ※70mm、75mmは受注品

## ウレタン塗膜防水材

品名	規格	備考
オルタックスカイ	32kg/セット (主剤:16kg・硬化剤:16kg)	屋根用ウレタン防水材 配合比1:1
オルタックスカイUC	24kg/セット (主剤:8kg・硬化剤:16kg)	屋根用ウレタン防水材 配合比1:2
オルタックスカイVR	24kg/セット (主剤:8kg・硬化剤:16kg)	ベランダ用ウレタン防水材 配合比1:2

## ウレタン塗膜防水材

品名	規格	備考
立上り用オルタックスカイ	24kg/セット(主剤:8kg・硬化剤:16kg)	立上り用ウレタン防水材 配合比1:2
巾木・側溝用オルタックスカイ	24kg/セット(主剤:8kg・硬化剤:16kg)	巾木・側溝用ウレタン防水材 配合比1:2

## 仕上げ材

品名	規格	備考
速硬化OTコートA	14kg/セット(主剤:6kg・硬化剤:8kg)	速乾性アクリルウレタン系保護塗料 8色(半つや)(43ページ参照)※2
OTコートA	14kg/セット(主剤:6kg・硬化剤:8kg)	アクリルウレタン系保護塗料 8色(半つや)(43ページ参照)※2
OTコートAつやあり	14kg/セット(主剤:6kg・硬化剤:8kg)	アクリルウレタン系保護塗料 4色(つや有)(43ページ参照)
OTコートクール	14kg/セット(主剤:6kg・硬化剤:8kg)	高反射型アクリルウレタン系保護塗料 2色(半つや)(43ページ参照)
OTコートシリコンクール	14kg/セット(主剤:6kg・硬化剤:8kg)	高耐久・高反射型シリコン変性アクリルウレタン系保護塗料 2色(つや有)(43ページ参照)
速硬化OTコートシリコン	14kg/セット(主剤:6kg・硬化剤:8kg)	速乾性シリコン変性アクリルウレタン系保護塗料 3色(つや有)(43ページ参照)
OTコートシリコン	14kg/セット(主剤:6kg・硬化剤:8kg)	シリコン変性アクリルウレタン系保護塗料 3色(つや有)(43ページ参照)
OTコートA タッチアップ	700g/セット(主剤:300g・硬化剤:400g)	タッチアップ用小分缶 4色(半つや)(43ページ参照)※1
OTコートA つやあり タッチアップ	700g/セット(主剤:300g・硬化剤:400g)	タッチアップ用小分缶 4色(つや有)(43ページ参照)※1
OTコートシリコン タッチアップ	700g/セット(主剤:300g・硬化剤:400g)	タッチアップ用小分缶 3色(つや有)(43ページ参照)※1
OTコート水系	11kg/セット (主剤:1kg缶・硬化剤:10kg缶・減粘剤:500ccボトル)	水性アクリルウレタン系保護塗料 2色(つや有)(43ページ参照)※1
オルタックコートFK	8kg/セット(主剤:2kg・硬化剤:6kg)	弱溶剤型フッ素樹脂系保護塗料 2色(つや有)(43ページ参照)※1
SPミネラコート	18kg/缶	珪砂入り水性保護塗料 3色(44ページ参照)
SPサーモコート	18kg/缶	遮熱水性保護塗料(断熱仕様用) 3色(44ページ参照)
SPスーパーサーモコート	18kg/缶	高耐久高反射厚膜塗料 色:1色(44ページ参照)
クレガーレリエナタイル	300mm×300mm・厚19mm・10枚/箱	裏足付磁器タイル仕上げ材 色:5色(44ページ参照)
ステップスクエア500	500mm×500mm・厚7.5mm・6枚/箱	自然砂成型仕上げ材 色:4色(44ページ参照)
ガムロントイル	300mm×300mm・厚8mm・18枚/箱	粘着層付磁器タイル仕上材 色:4色(44ページ参照)
Uチップ	300g/箱	粗面仕上げ用ウレタンチップ #20
Mチップ	420g/箱	粗面仕上げ用無機質微小中空球体

※1: 受注生産品です ※2: 色によっては受注生産品となります

・シート類につきましては、納品時に2ピース品(1カ所切断している製品)が含まれている場合がありますので、ご了承ください。  
 ・当カタログに記載されている各材料の質量・寸法等は代表値であり、実際の製品とは異なる場合があります。

## 副資材

品名	規格	備考
オルタックテープWフィルムタイプ	97mm×50m巻	オルタックシートGSおよびWS用ジョイントテープ
オルタックテープマルチ	197mm×50m巻	オルタックシートLG用ジョイントおよびコーナー用補強テープ
オルタックLGパッチ	φ120mm・300枚/袋	オルタックシートLG用パッチ材
バリテープC	100mm×20m巻・8巻/箱	バリボードPS用ジョイントテープ
オルタックコーナーテープ	150mm×15m巻・2巻/包	シートS・シートM工法用立上り入隅部補強テープ
エンドラップテープ50/100/200	50・100・200mm×50m巻	粘着層付補強用ガラスメッシュテープ
オルタックアゴテープ	48mm×50m巻	パラベッタゴ下専用切りテープ
アジャストE	13kg/缶	減粘剤
オルタック硬化促進剤	6kg/缶	防水材硬化促進剤
OT増粘剤	1.6kg/缶(計量カップ付)	防水材用増粘剤
OT洗浄剤	15kg/缶	洗浄剤
オルタックトナーパック	400gパック×5袋/箱(計量カップ付)	オルタック用調色材
ASディスク	60mm径×1.6mm厚・100枚/箱	オルタックSL工法用固定ディスク
UPアンカー35/50/60/75	35・50・60・75mm・100本/箱	オルタックSL工法用アンカー
ディスク60	60mm径×1.6mm厚・100枚/箱	オルタックSL工法用固定ディスク(エアロスミス用)
エアピン30/35	30・35mm・100本/箱	オルタックSL工法用アンカー(エアロスミス用)
OTシール	320ccカートリッジ・10本×2箱/梱包	ウレタン系シーリング(速乾性・1液)
ステンレスペーパス	1個	平面部用通気材(一般用)
ステンレスペーパスW	1個	平面部用通気材(断熱工法用)
立上り用ステンレスペーパス	4個セット/箱	立上り部用通気材
トルネードドレンたて 80/90	φ80・88mm(筒外径) 1個/箱	改修工事用ドレン(キャップ・専用ナット・シリコンゴム付属)
リードレンCたて/横 U	1個	改修用銅製ドレン、金属用プライマー付属
ドレンキャップ190	1個/箱	タテ型用キャップ(大)、色:黒
ドレンキャップAS	5個/箱	タテ型用キャップ(小)、色:黒・ライトグレー
ドレンキャップ横引用C200・AS	各1個/箱	横引ドレン用キャップ、色:黒(C200)・ライトグレー(AS)
メジパス	0.3mm厚 90mm×1m・100枚/箱	アルミ製 改修工事用目地キャップ

## 施工器具

品名	規格	備考
平板転圧ローラー・平板転圧ローラーSi	1個	防水シート立上り部出入隅部転圧用
ステッチャー	5本/セット	防水シート出入隅部転圧用
ルーフィングカッターDX II	1本	粘着層付きシートの剥離紙のみを切るための特殊カッター
オルタックレーキセット	シャフト・治具・1.5kg用刷毛・2kg用刷毛	ウレタン塗膜防水材塗布用
オルタックレーキ用刷毛1.5kg用	5枚/セット	ウレタン塗膜防水材塗布用
オルタックレーキ用刷毛2.0kg用	5枚/セット	ウレタン塗膜防水材塗布用
レイコーディッシャー	2個/箱	レイコーセメント塗布用
オルタッククシゴテ 1.3/1.5/2.0	2枚/袋	ウレタン塗膜防水材塗布用

## キシレン等の溶剤を使用した製品

### 下地処理材／接着剤

品名	規格	備考
オルタックプライマーU	16kg/缶	ウレタン系プライマー(一般用)
オルタックプライマーS	16kg/缶	ウレタン系プライマー(速乾性)
オルタックプライマーK	0.4kg/缶、7kg/缶	ウレタン系プライマー(金属下地・塗膜下地用)

### 仕上げ材

品名	規格	備考
オルタックコートF	8kg/セット(主剤:2kg・硬化剤:6kg)	フッ素樹脂系保護塗料 色:グレー・グリーン※(つや有)
ステップトップ(クリア)	18kg/セット(主剤:15kg・硬化剤:3kg)	ステップ用塗り替え用クリアトップコート(0.2kg/m <sup>2</sup> )

### 副資材

品名	規格	備考
アジャストU	15kg/缶	減粘剤・洗浄剤

※受注色

### ビュージスタ

#### 耐候・防滑性ビニル床シート

品名		規格			
ビュージスタ GRAN	ジオ	2.5mm(凸部厚さ)×10m(長さ)	幅4種	1,250mm、1,350mm、1,620mm、1,820mm	8色
	ブロック	2.5mm(凸部厚さ)×10m(長さ)	幅4種	(1,250mm)、1,350mm、1,620mm、1,820mm	5色
ビュージスタ MULTI	ラティス	2.5mm(凸部厚さ)×10m(長さ)	幅3種	1,350mm、1,620mm、1,820mm	4色
	サガン	2.5mm(凸部厚さ)×10m(長さ)	幅2種	1,350mm、1,820mm	2色
	ストライプ	2.5mm(凸部厚さ)×10m(長さ)	幅2種	1,350mm、1,820mm	3色
ビュージスタ SAND	ヘキサ	2.5mm(凸部厚さ)×10m(長さ)	幅3種	1,350mm、1,620mm、1,820mm	6色
	ストーン	2.5mm(凸部厚さ)×10m(長さ)	幅3種	1,350mm、(1,620mm)、1,820mm	3色
ビュージスタ PLUS	お掃除らくらく	2.5mm(凸部厚さ)×10m(長さ)	幅3種	1,350mm、(1,620mm)、1,820mm	4色
	かろやか遮熱	1.8mm(凸部厚さ)×10m(長さ)	幅2種	1,350mm、1,820mm	3色
	省音やすらぎ	3.5mm(凸部厚さ)×10m(長さ)	幅1種	1,350mm	4色

( )は受注生産品

### 階段用

品名	規格		
ビュージスタステップVLT	3.9mm(凸部厚さ)×500mm(奥行)	幅2種	950mm、1,250mm
ビュージスタステップVST	3.9mm(凸部厚さ)×320mm(奥行)	幅2種	950mm、1,250mm

### 副資材

品名	規格	備考
だんばなプライマー	0.4kg/缶	段鼻部分下地表面強化剤
セメントVG	9kg/缶 18kg/缶	ビュージスタ・ビュージスタステップ用接着剤
セメントEP20	(大)16kg/セット・(中)8kg/セット	ビュージスタ用接着剤
ビュージスタ溶接棒	φ4.0mm(直径)×50m(長さ)	シート継ぎ目処理
VGシール	320ccカートリッジ2本/箱	シート継ぎ目処理(5色)

## オルタックスカイ防水をご採用いただいたお施主様へ

(取扱いとメンテナンスのお願い)

オルタックスカイ防水は、液状のウレタンゴムを塗布して防水層を形成する防水システムです。施工時には液状ですが、化学反応で硬化してウレタン防水皮膜となり、その上を歩行することができます。

### □防水工事施工中のご注意

- 防水工事の施工現場・足場等の仮設・資材置場は危険ですので立ち入らないでください。
- 防水材料の中には有機溶剤を使用した物もありますので、材料や工具には近寄ったり、手を触れたりしないでください。また、施工中は臭気が発生する場合もあるため、その期間中は窓を閉める等、できるだけ作業外気との接触を避けるようご協力をお願いします。
- オルタックスカイ防水材・保護塗料は、塗布後硬化・乾燥するまで養生が必要です。硬化・乾燥前のオルタックスカイ防水層に水をこぼしたり、物を置いたり、歩行したりしないでください。

### □通常ご使用時のご注意

- オルタックスカイ防水層の上を歩行する場合は、ゴム底等の底が柔らかい履き物を使用してください。
- 重量物、振動する物や鋭利な物を、防水層の上に置かないでください。
- 漏水の原因となりますので、鋭利な物で防水層を傷つけたり、物を落としたり引き摺ったりしないでください。
- 防水層が劣化しますので、防水層の上に溶剤・薬品類をこぼしたり流したりしないでください。
- 防水層の上で火を燃やしたり、タバコを投げ捨てたりしないでください。
- 他の屋根の排水を防水層上に流さないでください。また、フラワーポット等、常時水が流れる物を置かないでください。
- 防水層の上に客土して草木の栽培を行わないでください。
- 防水層の表面に水や雪等があると滑り易くなりますので、歩行には注意してください。
- 防水層の仕上げとして、SPミネラコート・ステップ等をご採用の場合も、防水層の取扱いは上記事項を遵守してください。

### □メンテナンスのお願い

- 防水層に苔・草等を生やさないように、側溝・ドレン周辺に土砂等がたまったら、定期的に取り除いてください。
- 防水層の端末・排水ドレン周辺は、半年毎に点検を実施し、異常があった場合はご相談ください。
- 防水層の保護塗料については、専門技術者へ点検を依頼し、必要と判断された場合には、塗り替えをお勧めします。
- 防水層の点検・補修・保護塗料の再塗装には、専門技術が必要です。当社または工事をした防水施工業者へ依頼してください(有償)。
- 防水層に汚れが付着した場合は、柔らかいブラシを用いて清掃してください。汚れがひどい場合は中性洗剤を50倍程度に薄めて使用してください(チップ材を用いて粗面仕上げにした場合は表面が凹凸仕上げになるため、汚れが付着しやすくなる場合があります)。



全国防水改修工事業団体連合会

<http://www.bousuikaisyu.com>

北海道防水改修事業センター 北陸防水改修事業センター  
東北防水改修工事協同組合 関西防水管理事業協同組合  
関東防水管理事業協同組合 中国防水改修事業センター  
東海防水改修工事協同組合 九州防水改修工事協同組合

田島ルーフィング株式会社

<https://www.tajima.jp>

東京支店 〒101-8579 千代田区外神田4-14-1 TEL 03-6837-8888  
大阪支店 〒550-0003 大阪市西区京町堀1-10-5 TEL 06-6443-0431  
札幌・仙台・北関東・千葉・横浜・多摩・金沢・名古屋・広島・福岡